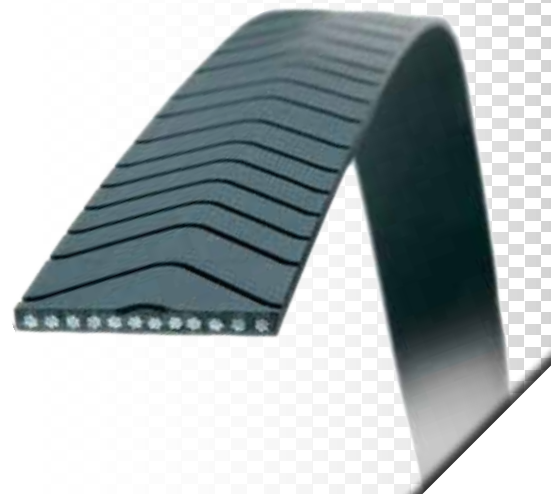


OTIS

フラットベルト式
乗用／住宅用／非常用エレベーター

GeN2[®]
Prestige

FLAT BELT INNOVATION



全てはお客様の満足のために

Gen2 Prestige は、これからのエレベーターに求められるさまざまなテーマに応えるために、従来のワイヤーロープに替わる「フラットベルト」による駆動方式を採用しました。オーチスが世界に先駆けて開発した「フラットベルト」は先進性、信頼性、環境性を大きく向上させ、次の時代を見据えた新たなエレベーターを実現しました。



先進性 **Advanced Technology**

Gen2 Prestige はオーチス独自開発のフラットベルトを採用、従来のワイヤーロープに比べ、耐久性に優れ、長寿命を実現しました。



信頼性 **Reliability**

地震時自動診断・復旧システム、クラウン効果、パルスシステムなど信頼性、安全性をさらに高めました。



環境性 **Environment**

フラットベルト、ペンシルマシンに加え、LED 照明等を採用し、耐久性や省エネルギーなどの優れた環境性能を実現しました。

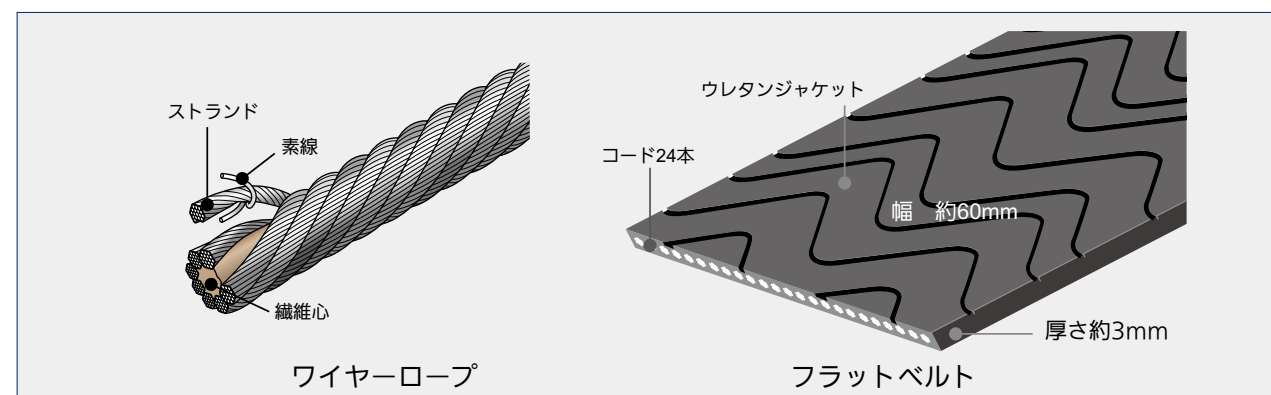
| | |
|------------------------|----|
| もくじ | |
| 先進性 | 4 |
| 信頼性 | 6 |
| 環境性 | 8 |
| かご内コーディネート例（乗用） | 10 |
| かご内コーディネート例（非常用） | 12 |
| かご内コーディネート例（住宅用） | 14 |
| かご内コーディネート例 | 16 |
| 乗場コーディネート例 | 18 |
| 仕様一覧 | 20 |
| 非常用エレベーター計画のポイント | 22 |
| 設備計画 | 24 |
| 電源設備・機械室発熱量 | 28 |
| 標準据付図（11～17人乗り 乗用・非常用） | 30 |
| 標準据付図（20～27人乗り 乗用・非常用） | 32 |
| 標準据付図（住宅用_リアカウンター） | 34 |
| 標準据付図（住宅用_サイドカウンター） | 36 |
| 三方枠詳細図、姿図、孔明図（乗用） | 38 |
| 三方枠詳細図、姿図、孔明図（住宅用） | 40 |
| 世界の高層ビル | 44 |
| 会社概要／メンテナンス | 46 |

先進性

Gen2 Prestige はフラットベルトを採用したことで巻上機の小型化・軽量化をはじめ、さまざまな革新的機能が備わっています。また次世代の群管理システム CompassPlus (行先階先行予約システム) に対応し更なる利便性の向上を実現しました。

□フラットベルト

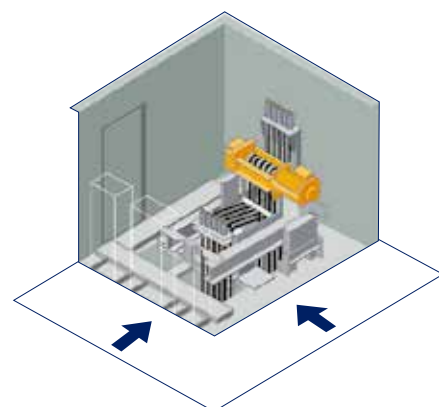
エレベーターに求められる課題を解決するために生まれたのが、従来のワイヤーロープに代わる「フラットベルト」です。ワイヤーロープでは必要不可欠だったオイルが不要になるだけでなく、省スペースで快適性にも貢献しています。



□ペンシル型巻上機

フラットベルトの採用により、巻上機の小型化及び軽量化が可能になり従来の巻上機に比べて綱車径で約 80%^{*}の縮小、重量で約 80%^{*}の削減(当社比)が可能になりました。さらに環境面では密閉式ベアリングの採用でグリースの補給も不要です。まさに省資源で環境にやさしい製品を実現しました。

※当社巻上機との比較です。



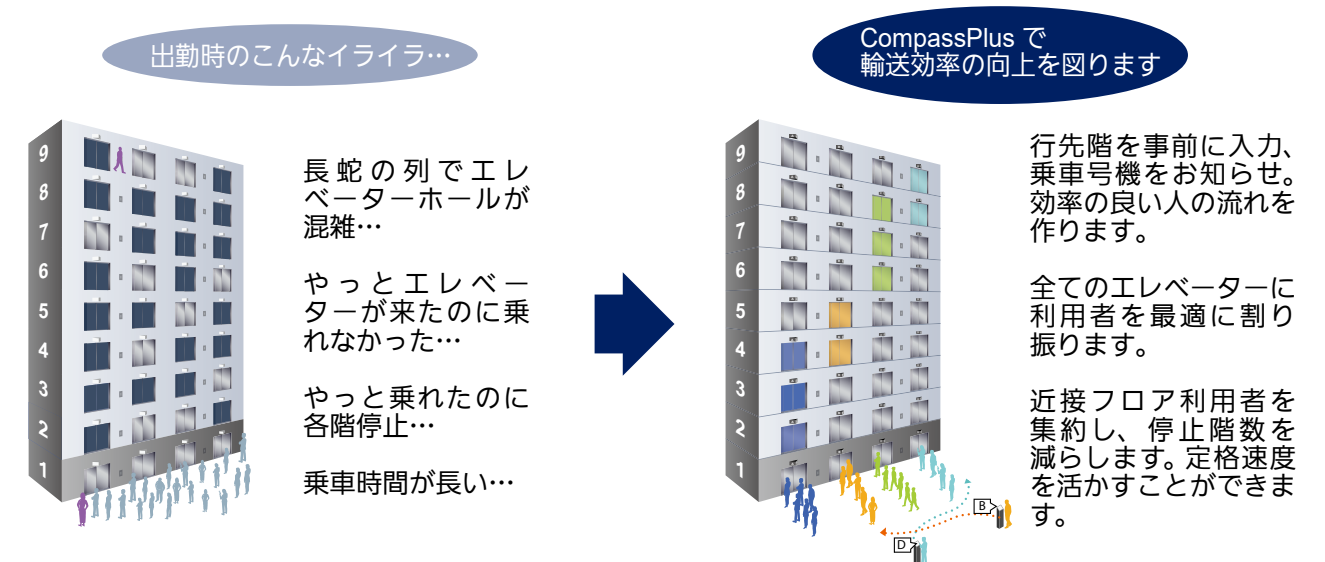
□省スペース機械室

ペンシル型巻上機の採用で機械室面積が約 50%の削減(当社比)が可能になりました。設計のレイアウトがしやすく、スペースを有効に使うことができ、機械室製作の省スペース化が図れます。

□CompassPlus (行先階先行予約システム)

CompassPlus (行先階先行予約システム) は乗場で行先階を登録することで行先階に合わせた号機に乗車することが可能です。またピーク時には輸送能力を大幅に向上させる事や、オフピーク時であれば稼働台数を制御し消費電力を抑制させることなどのメリットを提供します。またセキュリティ機能や建物側の入退出管理システム^{*}との連動なども可能です。

※詳細については、別途お問い合わせください。

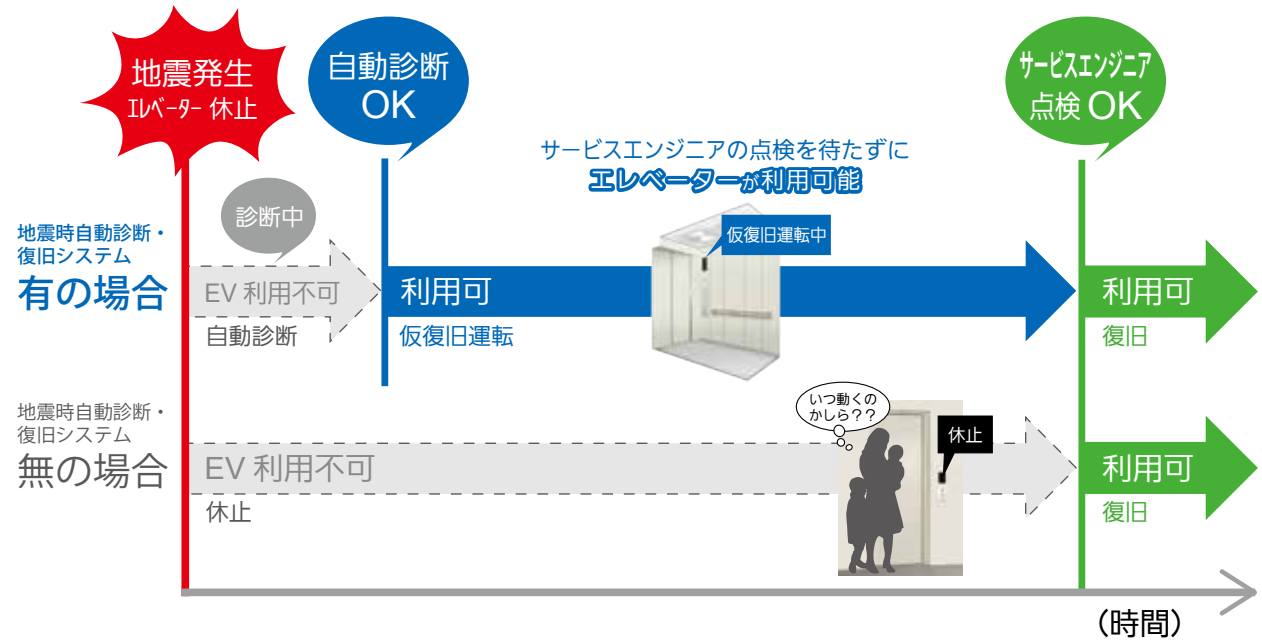


信頼性

エレベーターに安全・安心を求める声は、ますます高まっています。Gen2 Prestige は多彩な機能で信頼性の向上に取り組んでいます。

□地震時自動診断・復旧システム

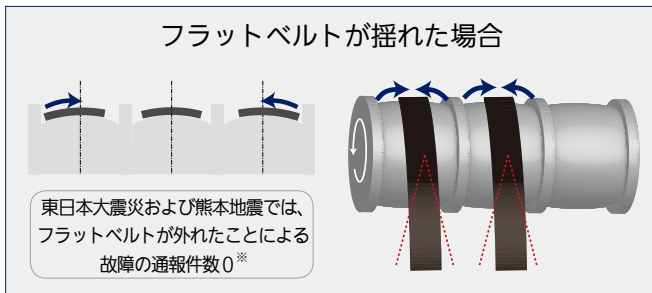
震度4相当の地震の場合に地震時管制運転が完了し、休止しているエレベーターをサービスエンジニアの点検・復旧を待たずエレベーター自身が自動診断運転を実施し、仮復旧運転でエレベーターをご利用いただけるシステムです。



※一定以上の揺れを検知した場合や、かご内に乗客がいる場合などは診断運転は実施しません。
 ※異常、安全装置の作動、他の管制運転と重複した場合は診断運転を中止します。
 ※稼働には弊社との保守契約が必要になります。
 ※遠隔監視システム接続後有効となります。
 ※サービスエンジニアの確認を待たずに利用できますが、機器損傷の可能性があります。

□クラウン効果

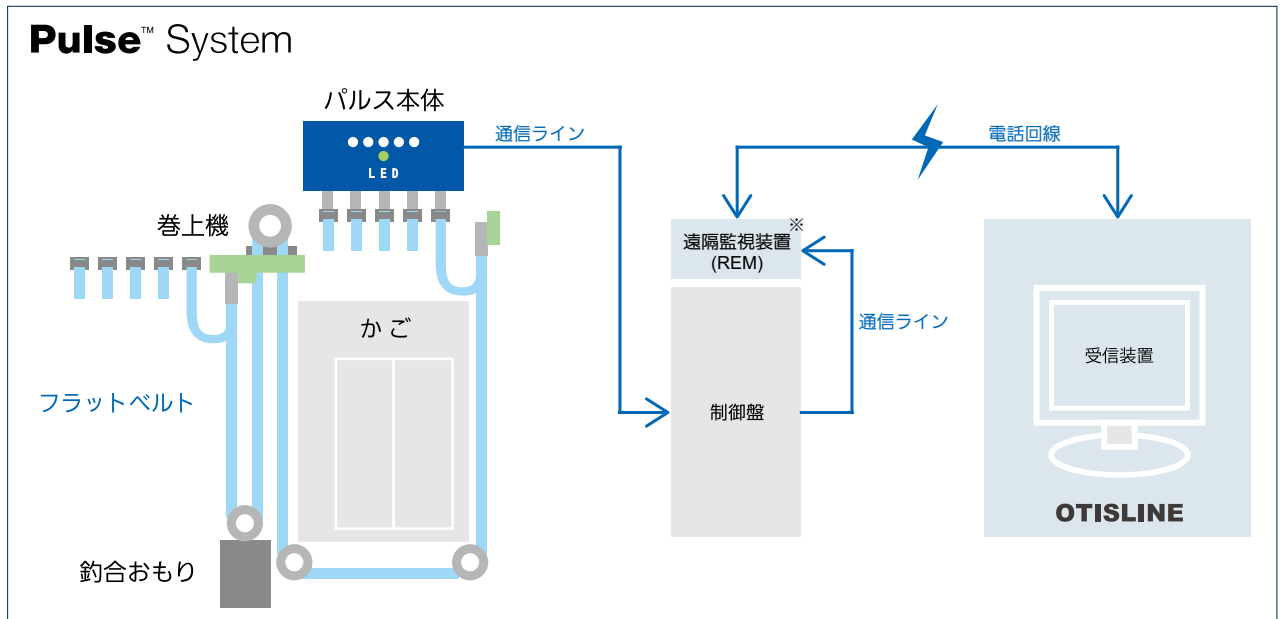
フラットベルトの綱車は中央部と両端部に直径差があり回転中に速度差が生じます。この回転速度差により速度の速い中央部へ自動的にベルトが戻ることを「クラウン効果」と呼び、地震動等でベルト位置が動いた場合でもフラットベルトの離脱を防ぎ、機器への損傷及び復旧作業の発生を防止します。



※フラットベルトの綱車外れ、損傷、損害件数。
 (日本オーチス調べ、東北支店、九州支店管轄物件)

□パルスシステム(フラットベルト検査装置)

パルス(Pulse)システムは、フラットベルト内の素線に通電し継続的に電気抵抗値を測定し、疲労・断線などの状態をLEDの点滅により表示します。さらに遠隔監視装置(REM)を組み合わせることで、オーチスラインと24時間365日繋がることができ、フラットベルトを常に監視します。



※遠隔監視システム(REM)は当社との保守・点検契約が必要です。

□ハンドタッチセンサー

エレベーターのかご側のドアが開く際に、主に小さなお子様の指などが、戸袋に引き込まれないようにするための装置です。万が一挟まれた場合には、ドアを停止させ音声で案内します。ハンドタッチセンサーはキッズデザイン賞を受賞しました。



キッズデザイン賞とは、子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン、創造性と未来を拓くデザイン、そして、子どもたちを産み育てやすいデザインを顕彰する制度です。

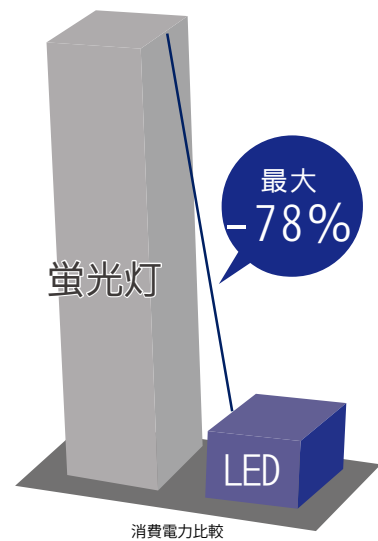


環境性

Gen2 Prestige はフラットベルトを採用することにより省資源・省スペースを実現。さらに省エネ機能にも対応した環境にやさしいエレベーターです。

□かご内 LED 照明 OP

Gen2 Prestige では、かごの照明設備に LED 照明を用意しています。従来の蛍光灯等と比べて長寿命、省電力効果が期待でき、有害な水銀などを使用しておらず環境にも配慮しています。

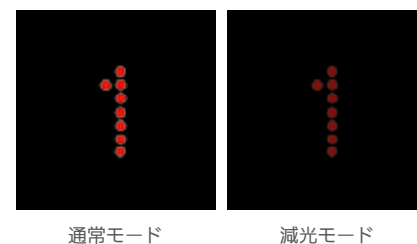


| かご照明での蛍光灯と LED 照明の性能比較 | 寿命 | 一日の消費電力(定格消費電力) | |
|------------------------|--------------|-----------------|----|
| 蛍光灯 | 約 335 日 | 約 644Wh (36W) | ※1 |
| LED | 約 4,705 日 ※2 | 約 136Wh (16W) | |
| 蛍光灯に比べて LED は・・・ | 約 14 倍 | 約 78% | ※3 |

※1: 30 形丸形スタータ形蛍光管 (定格寿命 6000 時間) の場合です。
 ※2: LED の寿命は光度 (光束) が初期の 70% になった時点です。
 ※3: 当社従来比 (エレベーター稼働回数を 300 回 / 日とし、休止時間の設定を加味した場合) です。

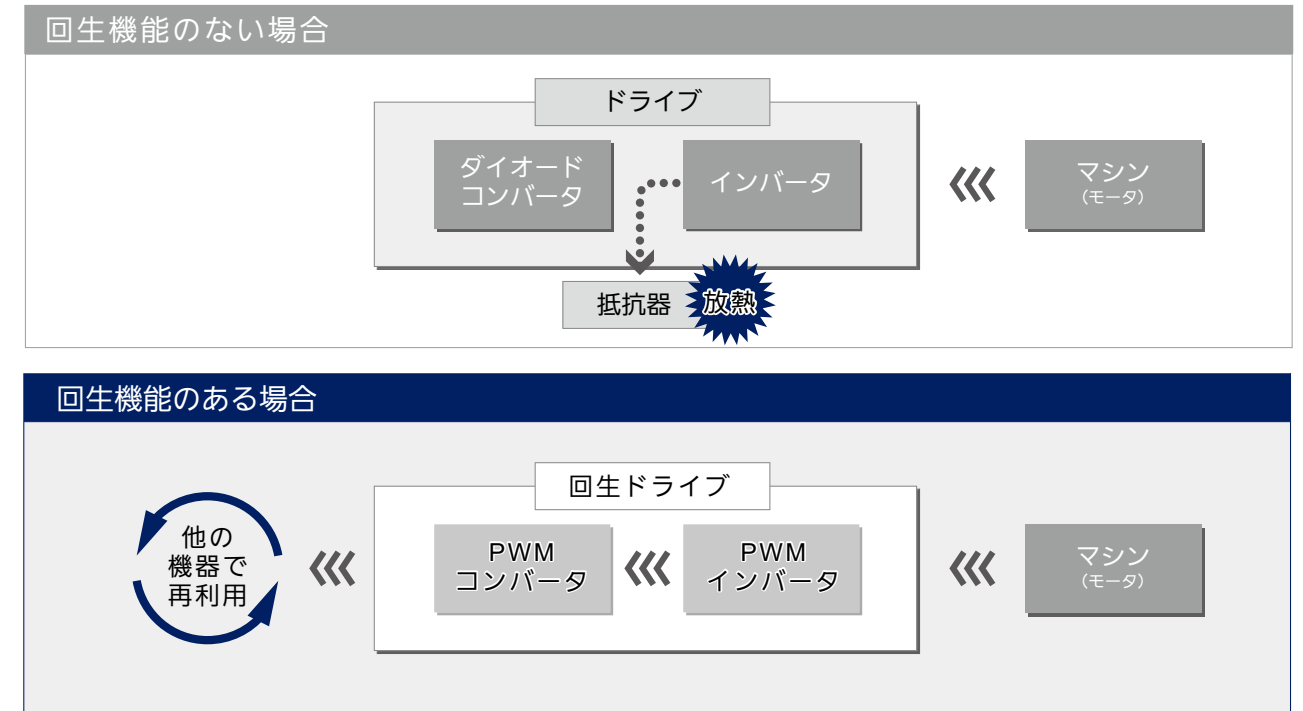
□乗場表示器を自動減光

ムダな電力を効果的にカットして待機時の消費電力を大幅に削減 (当社比: 35% 減、1 階待機時) します。一定時間利用がない場合、乗場にある表示器を自動的に減光。待機電力のムダづかいを防止して環境保全に貢献します。



□ ReGen ドライブ (回生ドライブ)

Gen2 Prestige では、これまで抵抗器で熱として処理していた回生電力を建物側に戻します。この機能により、回生機能のないエレベーターと比べて省エネルギーを実現します。



回生電力は建物の電源設備状況等により、一次側 (建物外部の電力供給ラインをいいます。) に戻る場合があります。回生される電力が一次側に戻る事が判明した場合には、お手数ですが、弊社までご連絡頂きますようお願いいたします。上記につきましてご不明点等ございましたら、弊社までお問い合わせください。



※ 仕様により上記の写真と異なる場合があります。

かご内コーディネート例(乗用)

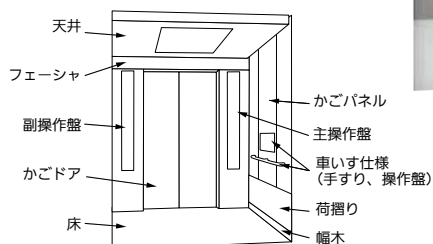


天井: OPS-101 ドーム型
 天井: 化粧鋼板 (PF-51 スノーホワイト)
 かごドア・フェーシャ・かごパネル: 化粧鋼板 (PF-51 スノーホワイト)
 床: ビニルタイル (FF-102 ライトグレー)
 幅木: ステンレスヘアライン仕上
 操作盤: 独立型 アルミステンレス調仕上
 : ドットマトリックスタイプ
 : 標準ボタン (抗菌仕様)

天井: OPX-111 アルミルーバー **OP**
 かごドア・フェーシャ・かごパネル: 化粧鋼板 (PF-74 ウォームホワイト)
 床: ビニルタイル (FF-105 メープルブラウン)
 幅木: ステンレスヘアライン仕上
 操作盤: 独立型 ステンレスヘアライン仕上 **OP**
 標準ボタン (抗菌仕様)、ドットマトリックスタイプ
 副操作盤: 付 **OP**
 車いす仕様: 付 (制御、操作盤 (正・副)、専用乗場ボタン、
 ステンレスヘアライン手すり (2方向)、
 鏡 (フロートミラー)) **OP**
 荷摺: ステンレスヘアライン仕上 **OP**
 その他: 4枚戸中央開き **OP**



天井: OPZ-111 ドットポイント **OP**
 かごドア・フェーシャ・かごパネル: 化粧シート貼 **OP**
 床: ビニルタイル (FF-102 ライトグレー)
 幅木: ステンレスヘアライン仕上
 操作盤: スイングリターン式 **OP**
 : 標準ボタン (抗菌仕様)、ドットマトリックスタイプ



各部名称



天井: OPZ-112 スクリーンシェード **OP**
 かごドア: 鋼板塗装 (指定色) **OP**
 フェーシャ・かごパネル: 鋼板塗装 (指定色) ※一部塗り分け **OP**
 床: 大理石貼 **OP**
 幅木: ステンレスヘアライン仕上
 操作盤: スイングリターン式 **OP**
 : ステンレス丸型ボタン **OP**
 : ドットマトリックスタイプ
 副操作盤: 付 **OP**
 手すり: ステンレスヘアライン1段3方向パイプ型 **OP**
 鏡: 背面中央パネルステンレス鏡面 **OP**

- 印刷の都合上、実際の色とは若干異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- OP**: 有償付加仕様です。
- 抗菌仕様は無機抗菌剤を練り込んだ素材を採用し従来の製品に比べ細菌の増殖割合が100分の1以下の抗菌効果があります。(当社比)

□ 天井タイプ対応範囲

スタンダード・デラックス・スーパーデラックスの3タイプの天井デザインを用意しています。



※スタンダード天井・デラックス天井は有償付加仕様で+200mmの高天井も対応可能です。

かご内コーディネート例 (非常用)



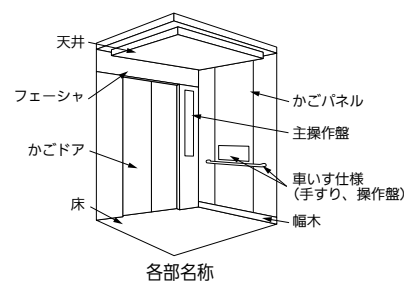
天井: OPS-101 ドーム型
化粧鋼板 (PF-51 スノーホワイト)
かごドア・フェーシャ・かごパネル:
化粧鋼板 (PF-71 クールホワイト)
床: ビニルタイル (FF-102 ライトグレー)
幅木: ステンレスヘアライン仕上 **OP**
操作盤: 独立型 ステンレスヘアライン仕上 **OP**
: ドットマトリックスタイプ
: 標準ボタン (抗菌仕様)

17人乗限定 天井タイプ

※かご内法 間口 1800 × 奥行 1500

天井: EGD-102 デコラティブ 鋼板塗装仕上 (指定色)
かごドア・フェーシャ・かごパネル: ステンレスヘアライン仕上 **OP**
床: FF-109 ブラック
幅木: ステンレスヘアライン仕上 **OP**
操作盤: スイングリターン式 **OP**
: ドットマトリックスタイプ
: 標準ボタン (抗菌仕様)
車いす仕様: 付 (制御、操作盤 (正・副)、専用乗場ボタン、
ステンレスヘアライン手すり (2方向)、
鏡 (フロートミラー)) **OP**

天井: EGA-103 アルコーブ 鋼板塗装仕上 (指定色)
かごドア・フェーシャ・かごパネル: ステンレスヘアライン仕上 **OP**
床: FF-109 ブラック
幅木: ステンレスヘアライン仕上 **OP**
操作盤: スイングリターン式 **OP**
: ドットマトリックスタイプ
: 標準ボタン (抗菌仕様)



- ・印刷の都合上、実際の色とは若干異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・**OP**: 有償付加仕様です。
- ・抗菌仕様は無機抗菌剤を練り込んだ素材を採用し従来の製品に比べ細菌の増殖割合が100分の1以下の抗菌効果があります。(当社比)



天井タイプ: デラックス (アルミルーバー 9分割)
かごドア・フェーシャ・かごパネル: ステンレスヘアライン仕上
床: ビニルタイル (FF-102 ライトグレー)
幅木: ステンレスヘアライン仕上 **OP**
操作盤: スイングリターン式 **OP**
: ドットマトリックスタイプ
: 標準ボタン (抗菌仕様)
車いす仕様: 付 (制御、操作盤 (正・副)、専用乗場ボタン、
ステンレスヘアライン手すり (2方向)、
鏡 (フロートミラー)) **OP**
荷摺: ステンレスヘアライン仕上 **OP**



非常用エレベーター操作パネル



□ 天井タイプ対応範囲

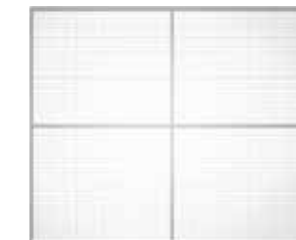
スタンダード・デラックスの2タイプの天井デザインを用意しています。
※非常用仕様のため、デラックス天井にはオパールアクリル板は付属しません。

Standard

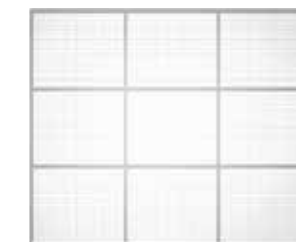


OPS-101 ドーム型 (基本仕様)

Deluxe



OPX-111 アルミルーバー 4分割 **OP**



OPX-112 アルミルーバー 9分割 **OP**

Deluxe



EGD-102 デコラティブ **OP**



EGA-103 アルコーブ **OP**

※有償付加仕様で+200mmの高天井も対応可能です。(EGA-103 アルコーブは2600mmのみ対応)
※EGD-102 デコラティブ、EGA-103 アルコーブは17人乗のみの対応になります。

かご内コーディネート例 (住宅用)



- 天井: デラックス (アルコーブ) OP
- 天井: 化粧鋼板 (PF-75 ホワイトパーチ)
- かごドア・フェーシャ・かごパネル: 化粧鋼板 (PF-75 ホワイトパーチ)
- 床: ビニルタイル (FF-102 ライトグレー)
- 幅木: ステンレスヘアライン仕上 OP
- 操作盤: 独立型 アルミステンレス調ヘアライン仕上
- : 液晶タイプ OP
- : 標準ボタン (抗菌仕様)
- 車いす仕様: 付 (制御、操作盤 (正・副)、専用乗場ボタン、ステンレスヘアライン手すり (2方向)、鏡 (フロートミラー)) OP
- 荷摺: ステンレスヘアライン仕上 OP



- 天井: デラックス (アルコーブ) OP
- 天井: 抗菌・抗カビ塗装鋼板 (PF-S70 クールシルバーメタリック) OP
- かごドア・フェーシャ・かごパネル: 抗菌・抗カビ塗装鋼板 (PF-S70 クールシルバーメタリック) OP
- 床: ビニルタイル (FF-108 ラベンダー)
- 幅木: ステンレスヘアライン仕上 OP
- 操作盤: 袖壁一体分離型 ステンレスヘアライン仕上 OP
- : ドットマトリックスタイプ
- : 標準ボタン (抗菌仕様)
- 車いす仕様: 付 OP
- 荷摺: ステンレスヘアライン仕上 OP



- 天井: デラックス (デコラティブ) OP
- 天井: 化粧鋼板 (PF-78 ダオ)
- かごドア・フェーシャ・かごパネル: 化粧鋼板 (PF-78 ダオ)
- 床: ビニルタイル (FF-104 ベージュ)
- 幅木: ステンレスヘアライン仕上 OP
- 操作盤: 袖壁一体分離型 ステンレスヘアライン仕上 OP
- : 液晶タイプ
- : 標準ボタン (抗菌仕様)
- 防犯ボタン: 付 OP



- ・印刷の都合上、実際の色とは若干異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・OP: 有償付加仕様です。
- ・抗菌仕様は無機抗菌剤を練り込んだ素材を採用し従来の製品に比べ細菌の増殖割合が100分の1以下の抗菌効果があります。(当社比)

□ 天井タイプ

クールな美しさを持つインテリアにマッチしたシンプルで明るい天井デザインを用意しています。

D e l u x e

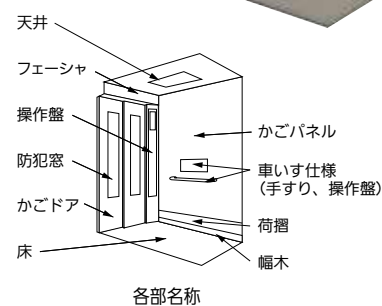


デコラティブ



アルコーブ

※天井はアクリル+化粧鋼板、フレーム (アルコーブ天井) はアルミステンレス調ヘアライン仕上です。
 ※有償付加仕様で+200mmの高天井も対応可能です。



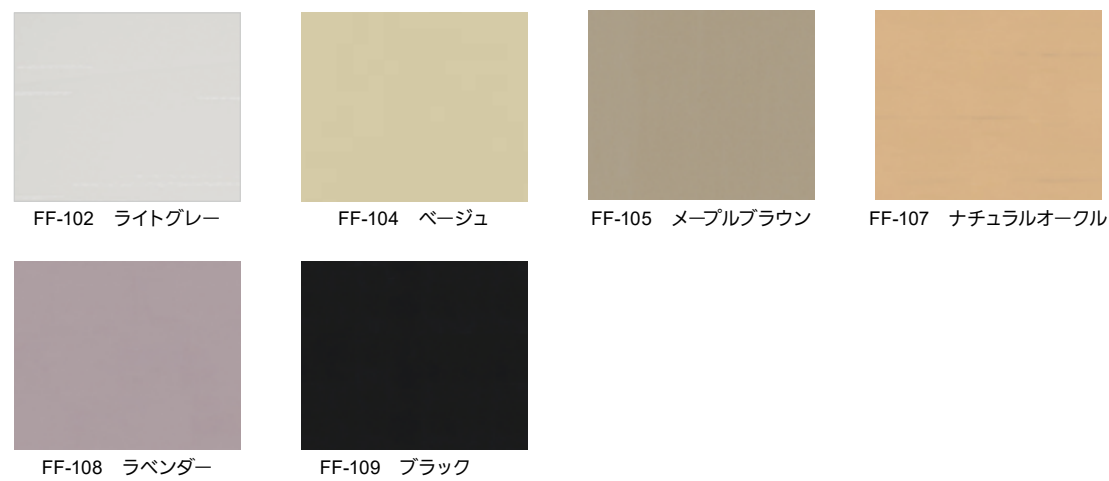
かご内コーディネート例

様々なシーンを想定し、お客様のお好みに合わせた多彩なバリエーションをご用意いたしました。

かごドア・フェーシャ・かごパネル (化粧鋼板)



かご床タイル (ビニルタイル 厚さ: 2mm)

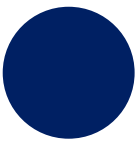


- 印刷の都合上、実際の色とは若干異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- CGはあくまでイメージです。図面もしくは現状と異なる場合は、図面もしくは現状が優先となります。
- OP: 有償付加仕様です。

かご内操作盤



- ボタンタイプによって対応できる操作盤や停止数などが異なります。
- 抗菌仕様は無機抗菌剤を練り込んだ素材を採用し従来の製品に比べ細菌の増殖割合が 100 分の 1 以下の抗菌効果があります。(当社比)
- ※1 乗用、非常用のみの対応になります。
- ※2 住宅用のみの対応になります。
- ※3 プレート素材はステンレスヘアライン仕上になります。
- ※4 車いす仕様の場合は身障者国際シンボルマークが付きま。



乗場コーディネイト例

□ 三方枠・幕板・乗場ドア



- 三方枠：大枠ステンレスヘアライン仕上 OP
- 乗場扉：ステンレスヘアライン仕上 OP
- 幕板：ステンレスヘアライン仕上 OP
- 幕板・扉面一 OP
- 乗場ボタンプレート：ステンレスヘアライン仕上特注品 OP
- 乗場ボタン：ステンレス丸型ボタン OP
- ランタン：アクリル特注品 OP
- 出入口高さ：2300 mm OP
- 車いす用乗場ボタン：付 OP

□ 乗場ボタン、インジケータ



- ボタンプレートタイプ：インジケータ一体型、車いす用一体型 OP
- インジケータ分離型 OP
- ボタン：標準ボタン（抗菌仕様）、丸型ステンレスボタン ※ OP
- 角型ボタン ※ OP、大型ボタン ※ OP
- インジケータ：ドットマトリックスタイプ、液晶タイプ ※ OP
- プレート素材：ステンレスシートヘアライン仕上
- アルミステンレス調仕上 OP
- ステンレスヘアライン仕上 OP
- その他：点字板 OP

・抗菌仕様は無機抗菌剤を練り込んだ素材を採用し従来の製品にくらべ細菌の増殖割合が100分の1以下の抗菌効果があります。（当社比）
 ・※プレート素材はステンレスヘアライン仕上のみとなります。



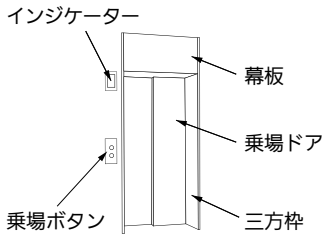
三方枠：小枠鋼板塗装仕上 (EF-44 マスタードイエロー)
 乗場ドア：鋼板塗装仕上 (EF-44 マスタードイエロー)
 乗場ボタン：インジケータ一体型
 防犯窓：付 OP



三方枠：大枠ステンレスヘアライン仕上 OP
 乗場ドア：鋼板塗装仕上 (EF-42 ノーブルレッド)
 乗場ボタン：インジケータ一体型
 非常呼び戻しボタン：付 OP
 非常用銘板：付 OP

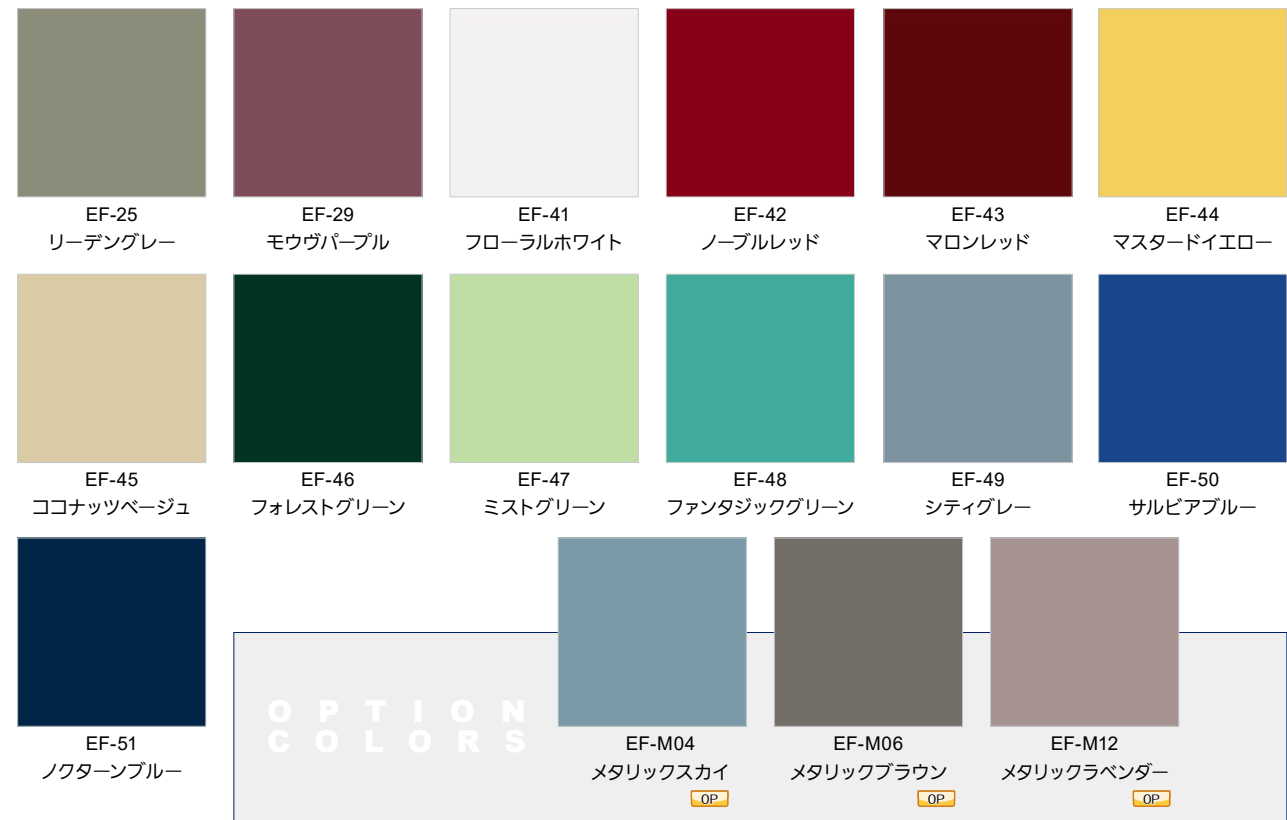


三方枠：大枠ステンレスヘアライン仕上
 乗場ドア：鋼板塗装仕上 (EF-46 ファンタジックグリーン)
 幕板：鋼板塗装仕上 OP
 (EF-46 ファンタジックグリーン)
 乗場ボタン：インジケータ分離型 OP
 インジケータ：幕板組込 OP



各部名称

□ 鋼板塗装色



・印刷の都合上、実際の色とは若干異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
 ・ OP：有償付加仕様です。

仕様一覧

○印は基本仕様 ●印は有償付加仕様 ー印は対応不可

○印は基本仕様 ●印は有償付加仕様 ー印は対応不可

機能表 (左側)
制御方式: 交流可変周波数制御PMギヤレス方式 ○
運転方式: 2台群乗合方式 ●, 3~4台群乗合方式 ●, 2~8台群管理方式 ●
戸形式: 2枚戸片開き ※住宅のみ ○, 2枚戸中央開き ※乗用・非常用のみ ○, 4枚戸中央開き ※乗用・非常用のみ ●
防災機能: 地震時管制運転 (P波+S波2段) リスタート機能付 ○, 地震時自動診断・復旧システム ※3 ○, 緊急地震速報連動運転 ●, 火災時管制運転 (自動※接点信号連動、手動) ※4 ●, 煙感知連動管制運転 (防火シャッター連動) ※4 ●, 自家発時管制運転 (自動・手動、全自動) ※4 ●, 停電時自動着床装置 (バッテリー救出運転) ※5 ○, 長尺物振れ管制運転 ー, ビット冠水時管制運転 ●, 管制運転表示灯&ブザー ○
安全機能: 戸閉走行保護装置 (UCMP) ○, 故障時最寄階自動着床機能 (リカバー走行) ○, 故障エレベーター切放し ※群乗合・群管理運転時 ○, 定員超過防止 ○, 非常停止スイッチ ○, 戸閉(開)不具合保護 (ドア繰り返し閉閉機能) ○, 戸閉不能防止 (JEAS) ○, ネクストランディング機能 ○, リレベル走行 ○, 機械式ドアセーフティシュー 片側取付 ○, セーフティシュー 両側取付 ※中央開き戸のみ ●, 多光軸ドアセンサー ●, 光電式ドアセンサー (2ビーム) ●, ドアモーションシグナル ●, ホールパッセンジャーセンサー ●, かが扉引き込まれ検出装置 (ハンドタッチセンサー) ○, AED専用運転 ●, 昇降路出入検知 (非常救出口スイッチ) ●, 煙感知器点検スイッチ ○, 乗場ドア遮煙仕様 ●

機能表 (右側)
快適機能: ベッド仕様 ●, 液晶ディスプレイ (かご操作盤、乗場インジケータ) ●, クーラー蒸散式 ※乗用17人乗以上・住宅用13人乗のみ ※5 ●, 「nanoe (ナノイー)」発生装置 ※7 ●, BGMスピーカー (兼非常用スピーカー) ●, 到着チャイム (かご、乗場) ●
防犯機能: 防犯直通運転 ●, 防犯運転 (各階強制停止) ●, 防犯ボタン連動運転 (最寄階停止) ●, 警報ブザー (インターホン・防犯ボタン連動) ●, 不鳴動防止タイマー (接点10秒保持) ●, 特定階サービス切放し (キースイッチ式、タイマー式) ●, 暗証コードパーソナル運転 ●, 特定階強制停止 ●, 不停止一時解除 (解除ボタン、解除キースイッチ) ●, セキュリティシステム ●, 防犯カメラ ●, 防犯モニター (5.6インチ・12.1インチ) ●, ドア閉閉時間自動調整 ○, 特定階ドアタイム延長 (最大2カ所) ●, 開延長ボタン ●, 強制戸閉め ○, かがボタン登録取り消し機能 ※副操作盤付は対応不可 ●, いたずら呼び自動登録取消 ○, 満員自動通過 ※群乗合全自動方式は基本仕様 ○, ホームランディング ●, 出勤時サービス ※3台群乗合以上 ●, 退勤時サービス ※3台群乗合以上 ●, お帰りのサービス ●, お出かけサービス ●, 反転かが呼び自動取消 ○, オートコールシステム ●, かが呼び優先 ●, スクロールメッセージ表示 ※乗場インジケータドットマトリックスタイプのみ ○
福祉機能: 車いす仕様 (制御、操作盤 (正・副)、乗場専用ボタン、手すり2方向、鏡) ●, 視覚障がい者仕様 ●, 聴覚障がい者仕様 ○, 音声アナウンス ○, かが到着チャイム ●, かがボタン発音機能 ●
保守機能: エレベーター遠隔点検システムインターフェイス ※10 ○, エレベーター遠隔救出装束インターフェイス ※10 ○, エレベーター遠隔監視システムインターフェイス ※10 ○, フラットベルト検査装置 ○, 監視盤対応 ●, インターホン ○, 無電圧A接点出力 ●, 非常用エレベーター運転機能 ※17人乗以上 ●, 絶縁トランス ●, 高調波対策 (ACL) ○, 前後出入口仕様 ※4 ※6 ●, 人荷対応 ※6 ●
管理機能: インターホン ○, 無電圧A接点出力 ●, 非常用エレベーター運転機能 ※17人乗以上 ●, 絶縁トランス ●, 高調波対策 (ACL) ○, 前後出入口仕様 ※4 ※6 ●, 人荷対応 ※6 ●

- ※1 AI学習推論機能が必要になります。
※2 サービス階表示装置が必要になります。
※3 保守・点検契約による遠隔監視システムが必要になります。
※4 非常用エレベーターは対応できません。
※5 建物状況・停止階 (急行ゾーン)・仕様内容により検討が必要な場合があります。
※6 別途検討が必要になります。
※7 「nanoe」、「ナノイー」及び「nanoe」マークは、パナソニック株式会社の商標です。
※8 ボタンの点灯色は下記になります。
標準ボタン (オレンジ)、ステンレス丸型ボタン (ホワイト・ブルー・レッド・グリーン)
角型ボタン・大型ボタン (アンバー・ホワイト・レッド・ブルー・グリーン)
※9 戸形式が4枚戸中央開きの場合は、ドア間口寸法で防犯窓のw寸法が変わりますのでご注意ください。
※10 システムをご利用になるには弊社との保守・点検契約が必要です。
※11 CompassPlus (行先階先行予約システム) と併用できないオプションがあります。ご不明な点は弊社までお問い合わせください。
※12 アルミステンレス調仕上は対応できません。

荷物の積み降ろし時は、積載量の1/2以下を2回以上に分けて行ってください。

意匠表
天井タイプ: スタンダード ※住宅用は設定無し ○, デラックス ●, スーパーデラックス ※乗用・天井高+200mm対応のみ ●, 天井高さ+200mm対応 ※化粧鋼板は対応不可 ●
天井照明: 蛍光灯 ○, LED ●
かごドア: 化粧鋼板 ※かご天井高さ2300mmのみ ○, 鋼板塗装仕上 ※標準は7分ツヤ ●, 鋼板化粧シート貼り仕上 ●, ステンレスヘアライン仕上 ●, ステンレスパイプレーション仕上 ●
幅木: 軟質ビニル樹脂 ※住宅用のみ ○, ステンレスヘアライン仕上 ※乗用・非常用は基本仕様 ●
敷居: 硬質アルミ製 ○, ステンレス製 ●
床: ビニルタイル (2mm厚) ○, ラバータイル (6mm厚) ●, 床差し込み (33mm) ※大理石貼仕上などの場合 ●
手すり: バイプ型 ●
荷摺: ステンレスヘアライン仕上 (床面より300mm・1000mm) ●
鏡: フロートガラスミラー、ステンレスミラー ●
操作盤: 形状: 独立型 ○, 袖壁一体分離型 ※住宅用のみ ●, スイングリターン式 ※乗用・非常用のみ ※12 ●, アルミステンレス調仕上 (標準ボタン (直径28mm)のみ対応) ○, ステンレスヘアライン仕上 ●, プレート: ステンレスヘアライン仕上 ●, ボタン ※8: 標準タイプ (直径28mm) 抗錆仕様 ○, ステンレス丸型ボタン (直径30mm)、角型ボタン (38mm角)、大型ボタン (直径60mm) ●, インジケータ: ドットマトリックスタイプ ○, 液晶タイプ ●, その他: 副操作盤 ●, 開延長ボタン ●
その他: 保護幕 (磁気式)、デザイン保護幕 (磁気式) ●, 床マット (ゴム製) ●
三方枠: 形状: 小枠、広枠 (住宅用のみ)、そで壁付枠 (住宅用のみ) ○, 大枠、大枠幕板付 ●, 鋼板塗装仕上 (標準色) ※標準は7分ツヤ ○, 鋼板メタリック塗装仕上 (標準色) ※標準は7分ツヤ ●, 鋼板塗装仕上 (指定色) ●, 鋼板メタリック塗装仕上 (指定色) ●, 鋼板化粧シート貼り仕上 ●, ステンレスヘアライン仕上 ●, ステンレスパイプレーション仕上 ●
乗場ドア・幕板: 鋼板塗装仕上 (標準色) ※7分ツヤ ○, 鋼板メタリック塗装仕上 (標準色) ※7分ツヤ ●, 鋼板塗装仕上 (指定色) ●, 鋼板メタリック塗装仕上 (指定色) ●, 鋼板化粧シート貼り仕上 ●, ステンレスヘアライン仕上 ●, ステンレスヘアラインエッチング仕上 ●, ステンレスパイプレーション仕上 ●, オーチスギャラリー ●
敷居: 硬質アルミ製 ○, ステンレス製 ●
その他: 防犯窓 ※標準サイズ (200x700mm)、大型サイズ (200x1300mm) ※9 ●, 幕板扉面一 (フラッシュタイプ) ※2枚戸中央開きタイプのみ、扉仕上、間口寸法などで対応できない場合があります。 ●, 扉高さ2000mm対応 ※住宅用のみ ●, 扉高さ2300mm対応 ※天井高さ+200mm対応が必要になります。 ●, 4枚戸中央開き対応 ※住宅用は対応不可 ●
乗場ボタン・表示器: タイプ: インジケータ一体型 ○, インジケータ分離型 ●, 車いす用一体型 ●, プレート: ステンレスシートヘアライン仕上 ○, アルミステンレス調仕上 ●, ステンレスヘアライン仕上 ●, ボタン ※8: 標準タイプ (直径28mm) 抗錆仕様 ○, ステンレス丸型ボタン (直径30mm)、角型ボタン (38mm角)、大型ボタン (直径60mm) ●, インジケータ: ドットマトリックスタイプ ○, 液晶タイプ ●, ホールランタン: アクリル標準品 (アクリル:w70xh70xd10程度、プレート:ステンレスヘアライン) ●, ※チャイムは含みません。 アクリル特注品 ●

非常用エレベーター計画のポイント

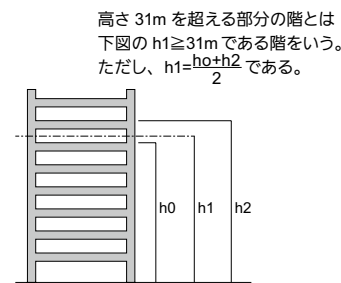
1 非常用エレベーターの設置を要する建築物

高さ31mを超える建築物に非常用エレベーターを設けないと、火災時の消火作業や救出作業に支障をきたし重大な事故の原因となります。高さ31mを超える建築物には、非常用エレベーターを設けてください。建築基準法を順守してください。(建築基準法第34条第2項)ただし、以下のような場合は、設置する必要がありません。(建築基準法施行令第129条の13の2)

- 高さ31mを超える部分を階段室、エレベーターその他の建築設備の機械室、装飾塔、物見塔、屋窓などこれらに類する用途に使用する建築物。

- 高さ31mを超える部分の各階の床面積の合計が500㎡以下の建築物。
- 高さ31mを超える部分の階数が4階以下で、その主要構造部が耐火構造となっており、さらに100㎡以内ごとに防火区画があるもの。
- 高さ31mを超える部分を機械製作工場、不燃性の物品を保管する倉庫などや、火災発生のおそれの少ない構造のもの。

■ 高さ31mを超える建築物の図



2 非常用エレベーターの所要台数

●高さ31mを超える建築物の場合、以下の条件を満たす非常用エレベーターの台数を設けないと、火災時の消火作業や救出作業に支障をきたし重大な事故の原因となります。高さ

31mを超える建築物には、以下の条件を満たす台数の非常用エレベーターを設けてください。建築基準法施行令を順守してください。(建築基準法施行令第129条の13の3第2項)

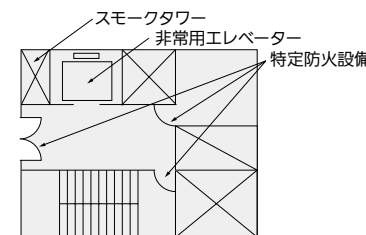
| 高さ31mを超える部分の床面積が最大の階の床面積 | 非常用エレベーターの数 |
|--------------------------|-------------|
| 1,500㎡以下 | 1台 |
| 1,500㎡を超え、4,500㎡以下 | 2台 |
| 4,500㎡を超え、7,500㎡以下 | 3台 |
| 7,500㎡を超え、10,500㎡以下 | 4台 |
| 更に3,000㎡以内を増すごとに1台ずつ追加 | |

●2台以上の非常用エレベーターを設置する場合、避難上および消火上有効な間隔を保たないと、火災時の消火作業や救出作業に支障をきたし重大な事故の原因となります。非常用エレベーターの間隔は、避難上および消火上有効な間隔を保ってください。建築基準法施行令を順守してください。(建築基準法施行令第129条の13の3第2項)

3 非常用エレベーターの設置場所・配置

非常用エレベーターを特別避難階段の附室以外や屋外へ避難するまでの歩行距離が長い場所に設置すると、火災時の避難行動に支障をきたし重大な事故の原因となります。非常用エレベーターは、特別避難階段の附室に設置し、避難階におけるエレベーターと屋外出口までの歩行距離が30m以下になるように設置してください。(建築基準法施行令第129条の13の3第5項)

■ 非常用エレベーターの配置場所 (避難階段の附室に配置した場合)

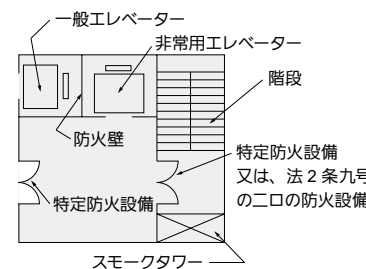


4 非常用エレベーターの昇降路

●非常用エレベーターの昇降路を耐火構造の床および壁で囲まないと、火災時の消火作業や救出作業に支障をきたし重大な事故の原因となります。非常用エレベーターの昇降路は、非常用エレベーター2台以内ごとに(乗降ロビーに通ずる出入口および機械室に通ずる鋼索、電線その他のものの周囲を除き)、耐火構造の床および壁で囲んでください。建築基準法施行令を順守してください。(建築基準法施行令第129条の13の3第4項)

●非常用エレベーターの昇降路に隣接して一般用エレベーターを設置する場合、非常用エレベーターと一般用エレベーターの昇降路との間に耐火構造の壁を設けないと、火災時の消火作業や救出作業に支障をきたし重大な事故の原因となります。必ず、非常用エレベーターと一般用エレベーターの昇降路との間に耐火構造の壁を設けてください。建築基準法施行令を順守してください。(建築基準法施行令第129条の13の3第4項)

■ 一般用エレベーターが隣接設置される非常用エレベーターの昇降路例



5 乗降ロビーの構造

以下の各階のりば条件を一つでも満たしていない非常用エレベーターを設置すると、火災時の避難行動に支障をきたし重大な事故の原因となります。必ず以下の条件を全て満たしたのりばにしてください。建築基準法施行令を順守してください。

- 非常用エレベーターの乗降ロビーは、各階(屋内と連絡する乗降ロビーを設けることが構造上著しく困難である階で次の①から④までのいずれかに該当するもの及び避難階を除く。)において屋内と連絡すること。
- ①当該階及びその直上階(当該階が、地階である場合にあっては当該階及びその直下階、最上階又は地階の最下階である場合にあっては当該階)が次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、かつ当該階の直下階(当該階が地階である場合にあっては、その直上階)において乗降ロビーが設けられている階(1)階段室、昇降機その他の建築設備の機械室その他これに類する用途に供する階(2)その主要構造部が不燃材料で造られた建築物その他これと同等以上に火災の発生のおそれの少ない建築物の階で、機械製作工場、不燃性

- の物品を保管する倉庫その他これらに類する用途に供するもの
- ②当該階以上の階の床面積の合計が500㎡以下の階
- ③避難階の直上階又は直下階
- ④その主要構造部が不燃材料で造られた建築物の階(他の非常用エレベーターの乗降ロビーが設けられているものに限る。)で居室を有しないもの
- ⑤当該階の床面積に応じ、次の表に定める数の他の非常用エレベーターの乗降ロビーが屋内と連絡している階

| | 当該階の床面積 | 当該階で乗降ロビーが屋内と連絡している他の非常用エレベーターの数 |
|-----|--------------|----------------------------------|
| (一) | 1,500㎡以下の場合 | 1台 |
| (二) | 1,500㎡を超える場合 | 3,000㎡以内を増すごとに(一)の数に1を加えた数 |

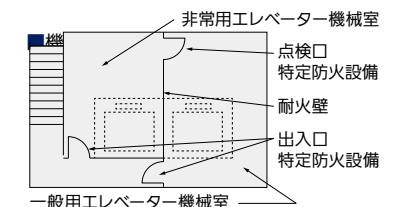
- バルコニーただし、建築基準法施行令第129条の13の3第13項の規定による排煙設備でもよい。
- ロビーから屋内に通ずる出入口の戸は、火災の

6 非常用エレベーターの機械室

以下の条件を一つでも満たしていない非常用エレベーターの機械室を設置すると、火災時の消火作業や救出作業に支障をきたし重大な事故の原因となります。必ず、以下の条件を全て満たした非常用エレベーターの機械室を設置してください。

- 非常用エレベーターと一般用エレベーターの機械室が隣接する場合は、耐火構造で区画しそれぞれに専用の出入口を設けます。

- 出入口は常時閉鎖式特定防火設備とする。
- 保守、点検に必要な場合で両機械室を区画する壁に点検口を設ける場合は常時閉鎖式特定防火設備とする。
- 非常用照明(1時間以上点灯可能)の設備。
- 換気設備の電源は予備電源付とします。



7 非常用エレベーターの電気配線工事

以下の条件を一つでも満たしていない非常用エレベーターの電気配線工事をすると、火災時の消火作業や救出作業に支障をきたし重大な事故の原因となります。必ず以下の条件を全て満たした非常用エレベーターの電気配線工事をしてください。

- 機械室外および昇降路外の電気配線工事は以下の工事種別とする。
- 非常用エレベーターに至る電気遮断器以降の電気配線は専用とし、他の一般用電気設備と共用しない。

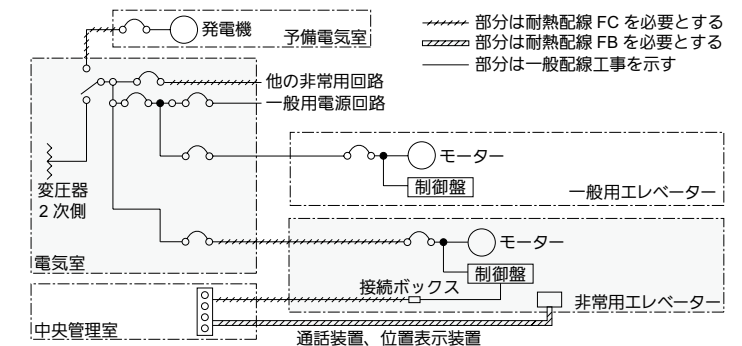
●非常用エレベーターが一般用エレベーターと併設される場合は、それぞれ別配線とする。

かご内と中央管理室(防災センター)を通過する連絡装置は、機械室とも通話できるものとしてください。※他のエレベーター通話機器とは別の、独立した専用回線としてください。

■ 非常用エレベーターの代表的電気配線

| | 機械室および昇降路により以下に至る配線 | 工事種別 |
|--------------|---------------------|-----------|
| 義務づけられている配線 | 中央管理室の通話装置 | 耐火配線工事 FB |
| | 中央管理室のかご呼び戻す装置 | 耐火配線工事 FC |
| | 予備電源室 | 耐火配線工事 FC |
| 運転上不可欠な回路の配線 | 中央管理室のエレベーター運転スイッチ | 耐火配線工事 FC |
| | 中央管理室の地震管制スイッチ | 耐火配線工事 FC |
| その他 | 位置表示装置 | 耐火配線工事 FB |

※耐火配線種別については「防火設備の電源と配線に関する指針」(昭和57年度版建設省住宅局建築指導課、自治省消防救急隊監督)による

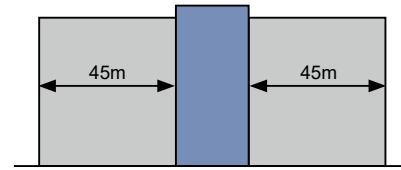


設備計画

1 建物内におけるエレベーターの位置

物の中央部にエレベーターコアを配置する。全体的に公平にエレベーターコアへ行けます。もし、ビルの端などに設置すると、反対側の人にはエレベーターコアまで行くのにかなりの時間がかかり、利用するのが不便になります。経験

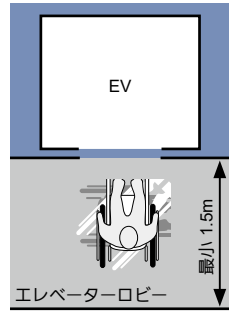
的にエレベーターからもっともはなれた事務所または部屋までの距離を45m以下にすると良好なサービスを提供できます。



2 グループ内におけるエレベーター配置

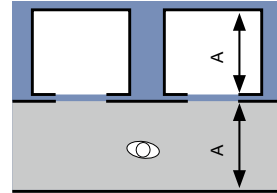
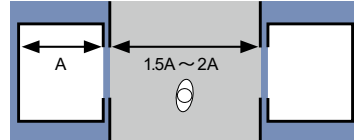
エレベーターのサービスゾーンの振分けや建物内での配置と同じように重要な事項が、グループ内でのエレベーターの配置です。概して利用者の歩く距離が最小限になるように配置しなければなりません。また、グループ内の台数に限らず、次の事項を考慮しておく必要があります。

●車いすを使用する方がいる時
車いすが回転できる広さを確保する。一般の車いすが回転に必要な寸法は1.5m角です。付添人がいる場合は更に0.6m必要となります。



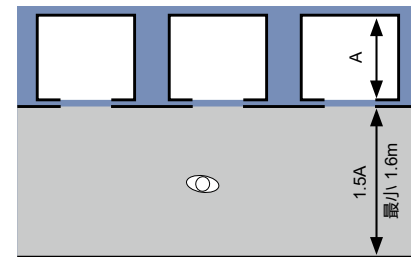
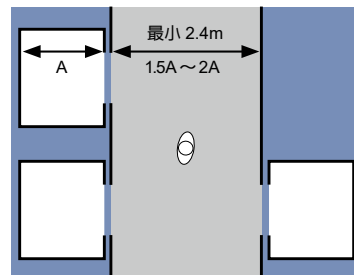
●2カーグループ

①隣同士に設置する。利用者は両方のエレベーターが見えるように向いているので、方向指示ランタンやかごの到着に、すぐに気づくことができ、また歩行距離も最小で済みます。また、向かい合わせで設置しても向き直るだけの有効な計画です。2台を離して設置するのは、どちらのエレベーターが来るのかわからず、また1グループとして認識しにくいのでやめるべきです。
②エレベーターロビーは最低かごの奥行きと同じ広さを確保する（メインフロアは更に広くする）。ロビーがあまりに狭い場合、利用者がロビーからあふれ乗込むのに時間がかかり、結果的にエレベーターの運行が遅くなります。



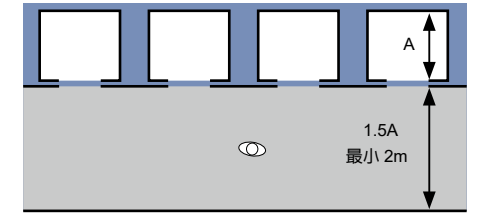
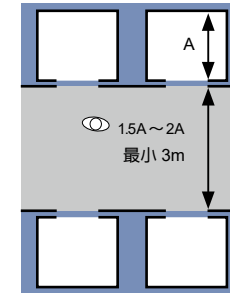
●3カーグループ

①1列に並べて設置する。全てのエレベーターが見えるので、方向指示ランタンやかごの到着がすぐに分かります。1台、2台の向かい合わせで設置すると歩行距離が短くなりますが、エレベーターに乗るために振り向く時間を考えると乗込むのに必要な時間は変わらなくなります。見た目にも1列のほうがよく見えます。
②エレベーターロビーは最低かご奥行き1.5倍（最小1.6m）確保する。利用者は3台の入口が見渡せる位置まで下がろうとしますので、2台の時よりも奥行きが余分に必要です。向かい合わせで設置する場合はかご奥行き1.5倍～2倍（最小2.4m）必要です。



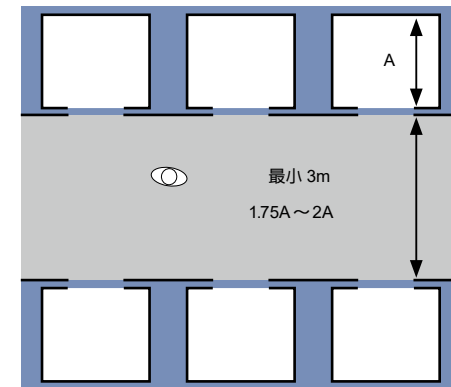
●4カーグループ

・2-2台向かい合わせで設置する。利用者の歩行距離が最も短く済む配置です。横1列に並べる配置もありますが、端から端までエレベーターの距離が遠くなるため移動するのに時間がかかりすぎ、お勧めできません。
・エレベーターロビーは最低かご奥行き1.5倍～2倍（最小3m）確保する。エレベーターロビーは全てのかごの乗客が入り出できる広さが必要です。また、1列に設置した場合は全てのホールランタンが見える広さ、かご奥行き1.5倍（最小2.4m）は必要です。



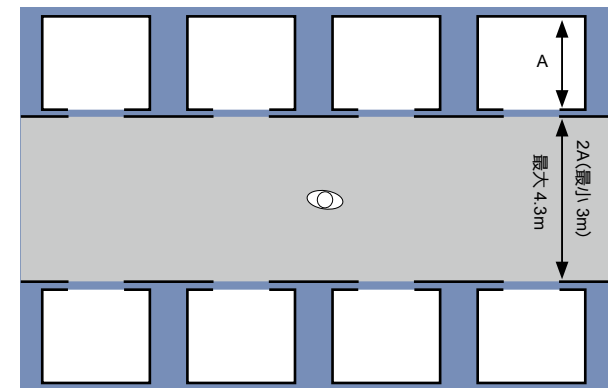
●5・6カーグループ

・2-3台、3-3台向かい合わせで設置する。利用者の歩行距離が最も短く済む配置です。横1列に並べると端から端までのエレベーターの距離が離れすぎます。もし、端の2台が同時に来て片方が満員になった場合、乗れなかった人はもう一方の端に歩いていかなければならず、それでも乗り遅れる可能性が出てきます。また、どのエレベーターが来るかわからなく、到着したことに気づかず乗り遅れる可能性も出てきます。
・エレベーターロビーは最低かご奥行き1.75～2倍（最小3m）確保する。エレベーターロビーは全てのかごの乗客が入り出できる広さが必要です。また、ロビーが通路としても使われる場合は最小3.6m必要です。



●7・8カーグループ

実用的に使える最大のグループ数です。
・3-4台、4-4台向かい合わせで設置する。利用者の歩行距離が最も短く済む配置です。横1列に並べると端から端までのエレベーターの距離が離れすぎます。もし、端の3台が同時に来て片方が満員になった場合、乗れなかった人はもう一方の端に歩いていかなければならず、それでも乗り遅れる可能性が出てきます。
・エレベーターロビーは最低かご奥行き2倍（最小3m）確保し、なおかつ4.3m以内とする。エレベーターロビーには全てのかごの乗客が入り出できる広さが必要です。しかし、むやみに広げすぎると歩行距離が長くなりすぎ乗り遅れる可能性が出てきます。また、1グループとして認識できず、サービスフロアが別のエレベーターと思われる可能性が出てきます。



設備計画

3 エレベーター交通量計算

エレベーターを計画するうえで最も重要な指標は、輸送能力と待ち時間です。輸送能力はエレベーターの量的評価、待ち時間は質的評価を表し、待ち時間に関しては、便用上エレベーター

の平均運転間隔で判断するのが一般的となっています。エレベーターの仕様・台数・サービス停止階を決定するにあたり、これらの量と質を定量的に把握する手法が交通計算であり、エレ

ベーター乗車人数から一周における停止数を想定し、一周時間と最大輸送人数を計算して、エレベーターの必要台数を算出します。

●5分間輸送率：

交通需要のピーク時における5分間に同一グループの全てのエレベーターで運び得る人数のビル収容総人数に対する割合でありエレベーターサービス水準を量的に表します。

$$\text{5分間輸送率 (\%)} = \frac{\text{1台あたり5分間輸送人数 (人)} \times \text{台数 (台)}}{\text{ビル収容総人数 (人)}} \times 100 (\%)$$

●平均運転間隔：

一周時間を同一グループの全台数で割った値であり、エレベーターサービス水準を質的に表します。

$$\text{平均運転間隔 (秒)} = \frac{\text{一周時間 (秒)}}{\text{台数 (台)}}$$

●一周時間：

かごが発階に戻って来た時点から、出発階で乗客を乗せ、上方階をサービスして再び出発階に戻って来るまでの時間

$$\text{一周時間} = \Sigma (\text{走行時間} + \text{戸開閉時間} + \text{乗客出入時間} + \text{損失時間})$$

- ・走行時間：加速時間+定格走行時間+減速時間
- ・戸開閉時間：右表参照
- ・乗客出入時間：事務所ビル出勤時の出発階乗込み時間：0.8秒/人
一般階乗降時間：te=Kr³√fn

te= 乗客が降りる時間の合計 (秒)

fn= 予想停止数 (ヶ床)

$$fn = n \left\{ 1 - \left(\frac{n-1}{n} \right)^f \right\}$$

n= ローカル区間サービス階数 (階) (全停止階数-出発階数)

r= エレベーター乗客数 (人) (エレベーター1台の定員数×乗車率)

K= 出入口幅による係数

- ・損失時間：戸開閉時間や乗客出入り時間はかなりの不確定要素が含まれるので、合計時間の10%を損失時間とする (奥の人が出る前に、手前の人が一歩降りる等の時間等)。

戸の形式と出入口幅による開閉時間

(メーカー値) と係数 K

| 出入口幅 | 2枚両引き戸 | 2枚片引き戸 | 係数 K |
|---------|--------|--------|------|
| 800 mm | 4.2 秒 | 6.0 秒 | 1.00 |
| 900 mm | 4.6 秒 | — | 0.95 |
| 1000 mm | 5.1 秒 | — | 0.90 |
| 1100 mm | — | 7.4 秒 | 0.85 |
| 1200 mm | — | 8.0 秒 | 0.80 |

●判断水準 (事務所ビル・集合住宅・超高層集合住宅)

| 建物用途 | 5分間輸送能力 | | 平均運転間隔 |
|----------------------|-------------|----------------------------|--|
| | 1社専用ビル | 通常は下限に近い値 鉄道駅等に近い場合は上限に近い値 | |
| 事務所ビル | 1社専用ビル | 20~25% | 通常は下限に近い値 鉄道駅等に近い場合は上限に近い値 |
| | 準専用ビル 官公庁ビル | 16~20% | 通常は下限に近い値 鉄道駅等に近い場合は上限に近い値 |
| | 貸事務所ビル | 11~15% | フロア貸しの時は上限に近い値をとる ルーム貸しの時は下限に近い値をとる |
| 集合住宅 | 都心の集合住宅 | 朝：4% 夕：4~6% | 高級志向は上限の値をとる 実用本位は下限の値をとる |
| | 郊外の集合住宅 | 夕：4% | |
| 超高層集合住宅 (一般的に30階建以上) | 朝：4% 夕：4~6% | 高級志向は上限の値をとる 実用本位は下限の値をとる | 1台の場合は90秒以下が望ましい 2台以上の場合は60秒以下が望ましい |

●計算に用いる数字 (事務所ビル・集合住宅・超高層集合住宅)

| | 事務所ビル | 集合住宅 | 超高層集合住宅 |
|---------------------|--|---|--|
| ピーク形態 (ピーク時間) | アップピーク (出勤時を想定) | ダウンピーク (朝方下り想定) 2方向ピーク (夕方を想定) | ダウンピーク (朝方下り想定) 2方向ピーク (夕方を想定) |
| 輸送対象人数 (エレベーター利用人数) | 予め1フロア人数が指定されている場合、その数値を使う未定の場合は、賃貸有効面積について8~12m ² /人で算出。一般に、10m ² /人として算出し、出勤率は80%とする | 予め1フロア人数が指定されている場合、その数値を使う未定の場合は、下記戸形式別居住人数に基づいて算出 1DK,1LDK：1人、2K：2人、2DK,2LDK：2.5人、3K：3人、3DK,3LDK：3.5人、4DK,4LDK以上：4人 | 朝方 ダウンピーク時の乗車比率はUP1：DN10 (UP8%：DN80%)とする (例：UP1人、DN7人とする) 夕方 2方向ピーク時の乗車比率はUP2：DN1 (UP60%：DN30%)とする (例：UP6人、DN3人とする) |
| 乗車人数 | 定員の80% | 定員に関係なく昇り、降り合計で3~6人利用するとし、乗車比率はUP2：DN1とする (例：5人としたらUP3人、DN2人とする) | 朝方 ダウンピーク時の乗車比率はUP1：DN10 (UP8%：DN80%)とする (例：UP1人、DN7人とする) 夕方 2方向ピーク時の乗車比率はUP2：DN1 (UP60%：DN30%)とする (例：UP6人、DN3人とする) |
| 備考 | 場合によっては昼食時ピーク (2方向ピーク) の計算も行う | — | — |

※「建築と設備技術者のためのエレベーター・エスカレーター計画」技術書院より
※「建築設計・施工のための昇降機計画指針」日本エレベーター協会 (1992年版) より

●判断水準 (ホテル)

| 建物用途 | 5分間輸送能力 | | 平均運転間隔 |
|------|----------------|---------------------------|-------------------------------------|
| | シティホテル | 大規模ホテルは上限の値、中小ホテルは下限の値をとる | |
| ホテル | シティホテル | 8~10% | 40秒以下を原則とし、設置台数が2~3台の小規模なホテルでは60秒以下 |
| | リゾートホテル | 12~15% | |
| | シティホテル+リゾートホテル | 10~13% | |

●計算に用いる数字 (ホテル)

| | シティホテル | リゾートホテル | シティ+リゾートホテル |
|---------------------|---|---------------------------------------|--|
| ホテルの特徴 | 客室の他、レストラン・結婚式場・展望室などを併設 | 観光地のホテルで団体客やグループ客が大半 | シティホテルとリゾートホテルの中間的なホテル |
| ピーク形態 (ピーク時間) | 2方向ピーク (UP1：DN1) (チェックイン時、宿泊客の外出、夕方を想定) | 2方向ピーク (UP3：DN1) (団体客到着チェックイン時の夕方を想定) | 2方向ピーク (UP2：DN1) (チェックイン時、宿泊客の外出、帰館時を想定) |
| 輸送対象人数 (エレベーター利用人数) | 全宿泊客数の80%を対象とする | 全宿泊客数の80%を対象とする | 全宿泊客数の80%を対象とする |
| 乗車人数 (かご乗車率) | 上り・下りとも定員の50% (UP50%：DN50%) 小規模なビジネスホテルの場合、機能性を重視して事務所ビルと同等の70~80%程度としてもよい | 上りは定員の80%、下りは定員の27%とする (UP80%：DN27%) | 上りは定員の65%、下りは定員の33%とする (UP65%：DN33%) |
| 備考 | ・4台以上設置されるような、大規模なホテルでは、最低でも定員17人乗以上が望ましい ・基本計画段階で客室数など詳細が未決定の場合は、概略で収容人数で算出します (※1参照) ・宴会場・レストラン等がある場合は、利用形態に合わせた計算も行う必要があります (※2参照) | | |

※1 客室数=延べ床面積÷100m² (45m²)、純客室総面積=延べ床面積×0.28 (0.4)、客室面積

=純客室総面積÷客室数

- ・上式の () 内数値はビジネスホテルの場合とする。
- ・客室面積はシングルの場合15~20m²、ツインの場合は25~30m²とする。

※2 宴会場の交通量は宴会開始時と終了時に需要が集中し、通常の客用エレベーターだけで賄いきれないこともあるため、規模にもよるが宴会場専用のエレベーターやエスカレーターを設置することが望ましい。その交通需要 (ピーク) は宴会形式によっても異なり、テーブル式では宴会開始直前の15分前に席数の30~40%の人が集中し、終了時には15分間に90%の人が退席する。また立食形式の宴会ではピークが小さくなり、15分間当たりの集中率は開始時・終了時いずれも30%程度となるエレベーターとエスカレーターの配置が、いずれも利用しやすい位置にあるときは、両者の利用率をエレベーター15%に対してエスカレーター85%として計算を行なう。

標準据付図

(11～17人乗り 乗用・非常用)

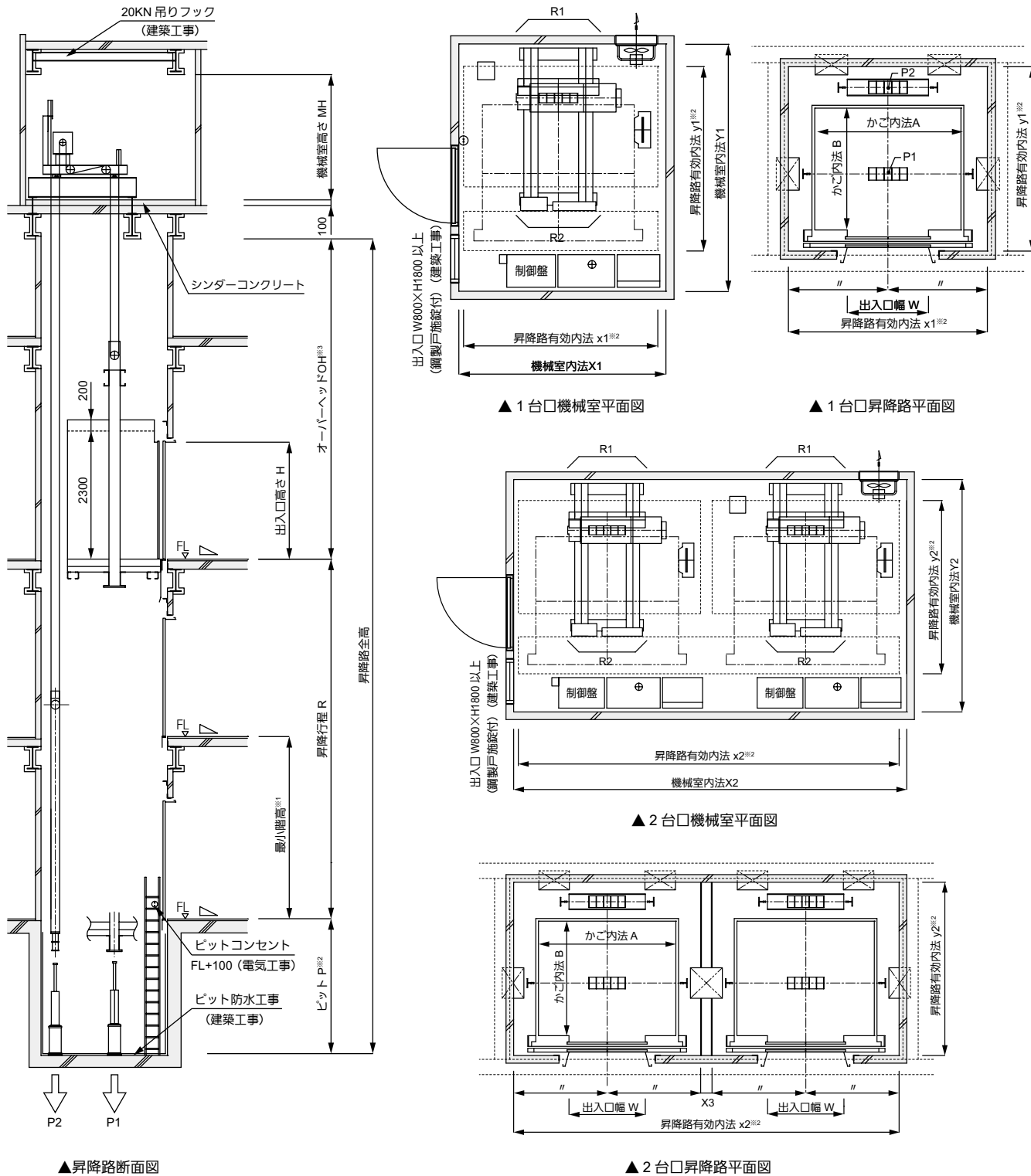


表1 最小階高 (mm)

| 出入口高さ H | 遮煙乗場ドア | |
|---------|--------|------|
| | 有 | 無 |
| 2100 | 2720 | 2675 |
| 2300 | 2920 | 2875 |

非常用エレベーターは下記の基準を満たす必要があります。

(昭和46年建設省告示第112号により日本工業規格 (JIS A4301-1983) に示される形式 E-17-CO と指定されています。)

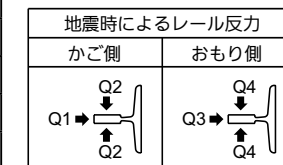
- (1) 積載量 1150kg 以上 (2) 定員 17人乗以上
- (3) かがりサイズ 間口 1800mm以上×奥行 1500mm以上×高さ 2300mm以上
- (4) 扉サイズ 間口 1000mm以上×高さ 2100mm以上

表2 寸法等一覧 ※下記以外のかご内法の場合は別途お問い合わせください。

| 定員 (人) | 積載量 (kg) | 速度 (m/min) | 機種名 | かがり内法 A×B (mm) | 出入口幅 W (mm) | 1台口 (mm) | | 2台口 (mm) | | 中間ビーム X3 (mm) | オーバーヘッド OH (mm) | ビット P (mm) | 機械室高さ MH (mm) | 機械室反力 (kN) | | ビット部衝撃荷重 (kN) | |
|--------|----------|------------|-------------|----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------------|-----------------|------------|---------------|------------|----|---------------|-----|
| | | | | | | 昇降路内法 x1×y1 | 機械室内法 X1×Y1 | 昇降路内法 x2×y2 | 機械室内法 X2×Y2 | | | | | R1 | R2 | P1 | P2 |
| 11 | 750 | 105 | P-11-CO.105 | 1400×1350 | 800 | 2050×2120 | 2200×3240 | 4250×2120 | 4350×3240 | 150 | 5250 | 2150 | 2250 | 69 | 73 | 145 | 131 |
| | | 120 | P-11-CO.120 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 150 | P-11-CO.150 | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | 900 | 105 | P-13-CO.105 | 1600×1350 | 900 | 2250×2120 | 2350×3240 | 4650×2120 | 4750×3240 | 150 | 5250 | 2150 | 2250 | 72 | 77 | 156 | 139 |
| | | 120 | P-13-CO.120 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 150 | P-13-CO.150 | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | 1000 | 105 | P-15-CO.105 | 1600×1500 | 900 | 2250×2270 | 2350×3320 | 4650×2270 | 4750×3320 | 150 | 5250 | 2150 | 2250 | 71 | 88 | 171 | 151 |
| | | | P-15-CO.120 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 120 | P-15-CO.120 | 1600×1500 | 900 | 2250×2270 | 2350×3320 | 4650×2270 | 4750×3320 | | | | | | | | |
| | | | P-15-CO.150 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 150 | P-15-CO.150 | 1600×1500 | 900 | 2250×2270 | 2350×3320 | 4650×2270 | 4750×3320 | | | | | | | | |
| | | | P-15-CO.120 | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | 1150 | 105 | P-17-CO.105 | 1800×1500 | 1000 | 2450×2270 | 2550×3320 | 5050×2270 | 5150×3320 | 150 | 5250 | 2150 | 2250 | 74 | 94 | 184 | 160 |
| | | | P-17-CO.120 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 120 | P-17-CO.120 | 1800×1500 | 1000 | 2450×2270 | 2550×3320 | 5050×2270 | 5150×3320 | | | | | | | | |
| | | | P-17-CO.150 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 150 | P-17-CO.150 | 1800×1500 | 1000 | 2450×2270 | 2550×3320 | 5050×2270 | 5150×3320 | | | | | | | | |
| | | | P-17-CO.120 | | | | | | | | | | | | | | |

表3 レール最大取付間隔、水平荷重

| 機種名 | レール最大取付間隔(mm) ^{※4} | | レール水平荷重 (kN) ^{※4} | | | |
|-------------|-----------------------------|------|----------------------------|-----|------|-----|
| | かがり側 | おもり側 | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 |
| P-11-CO.105 | 4250 | 3150 | 8.7 | 4.4 | 12.8 | 6.4 |
| P-11-CO.120 | 4250 | 3150 | 8.7 | 4.4 | 12.8 | 6.4 |
| P-11-CO.150 | 4250 | 3150 | 8.7 | 4.4 | 12.8 | 6.4 |
| P-13-CO.105 | 4250 | 4250 | 9.1 | 4.6 | 13.6 | 6.8 |
| P-13-CO.120 | 4250 | 4250 | 9.1 | 4.6 | 13.6 | 6.8 |
| P-13-CO.150 | 4250 | 4250 | 9.1 | 4.6 | 13.6 | 6.8 |
| P-15-CO.105 | 4050 | 4250 | 10.1 | 5.1 | 15.0 | 7.5 |
| P-15-CO.120 | 4050 | 4250 | 10.1 | 5.1 | 15.0 | 7.5 |
| P-15-CO.150 | 4050 | 4250 | 10.1 | 5.1 | 15.0 | 7.5 |
| P-17-CO.105 | 4000 | 4200 | 10.6 | 5.3 | 15.8 | 7.9 |
| P-17-CO.120 | 4000 | 4200 | 10.6 | 5.3 | 15.8 | 7.9 |
| P-17-CO.150 | 4000 | 4200 | 10.6 | 5.3 | 15.8 | 7.9 |



※1 最小階高は表1で確認してください。

※2 昇降路有効内法、ビット寸法はビット防水工事後の有効寸法です。

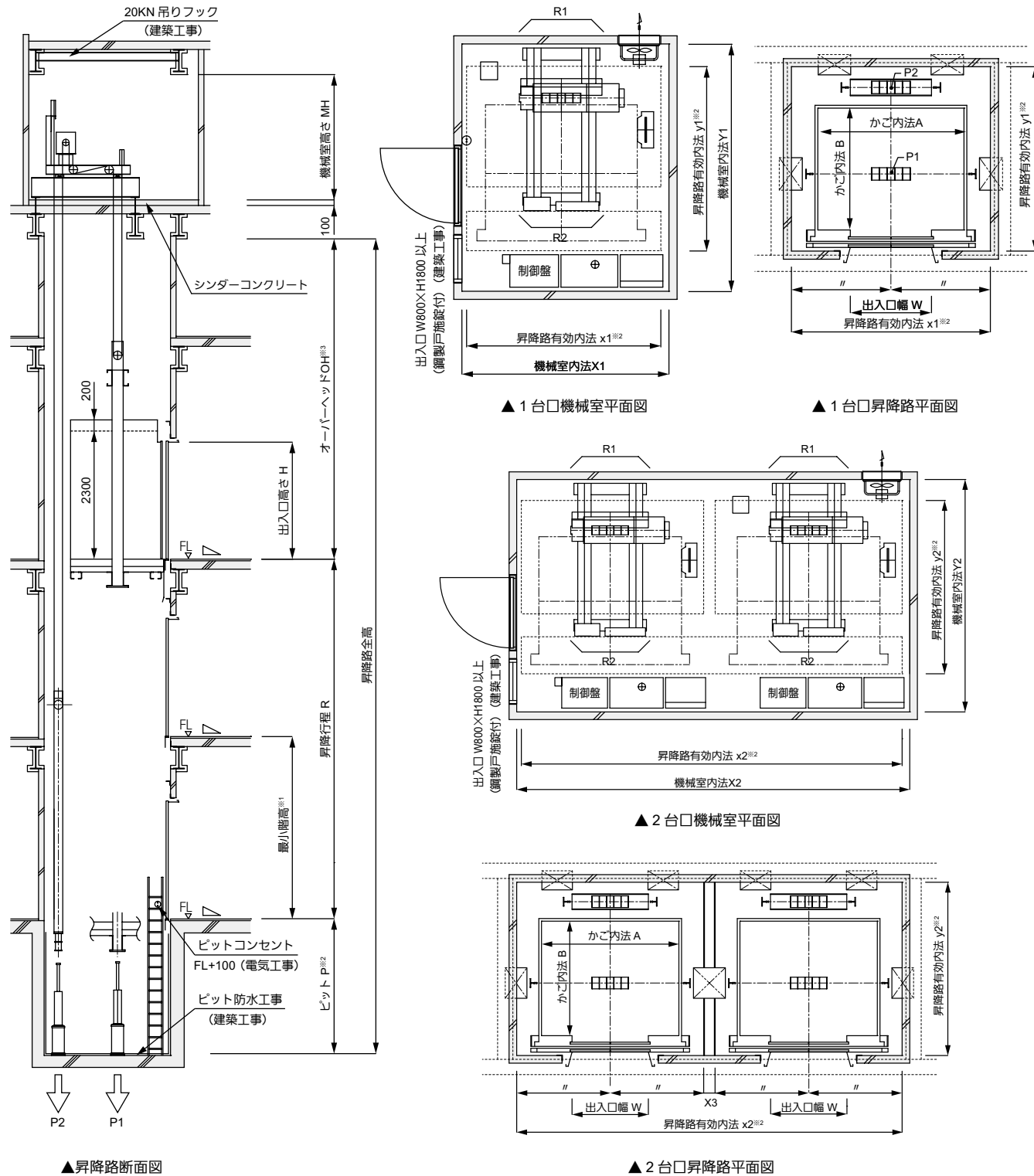
※3 オーバーヘッド寸法はアラックス天井の場合を示します。(スーパーアラックス天井は+300mm、高天井仕様の場合は+200mm)

※4 レールの水平荷重、最大取付間隔はH25国告1047(水平加速度0.6、地域係数1.0)に準じ算出しています。

RC構造の場合には、普通コンクリート構造 FC18 (N/mm²) 以上としてください。左記以外の場合は別途ご相談ください。

標準据付図

(20～27人乗り 乗用・非常用)



▲昇降路断面図

▲2台口昇降路平面図

表1 最小階高 (mm)

| 出入口高さ H | 遮煙乗場ドア | |
|---------|--------|------|
| | 有 | 無 |
| 2100 | 2720 | 2675 |
| 2300 | 2920 | 2875 |

非常用エレベーターは下記の基準を満たす必要があります。

(昭和46年建設省告示第112号により日本工業規格 (JISA4301-1983) に示される形式 E-17-CO と指定されています。)

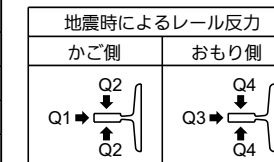
- (1) 積載量 1150kg 以上 (2) 定員 17人乗以上
- (3) かがサイズ 間口 1800mm以上×奥行 1500mm以上×高さ 2300mm以上
- (4) 扉サイズ 間口 1000mm以上×高さ 2100mm以上

表2 寸法等一覧 ※下記以外のかご内法の場合は別途お問い合わせください。

| 定員 (人) | 積載量 (kg) | 速度 (m/min) | 機種名 | かが内法 A×B (mm) | 出入口幅 W (mm) | 1台口 (mm) | | 2台口 (mm) | | 中間ビーム X3 (mm) | オーバーヘッド ^{※3} OH (mm) | ピット ^{※2} P (mm) | 機械室高さ MH (mm) | 機械室反力 (kN) | | ピット部衝撃荷重 (kN) | |
|--------|----------|------------|-------------|---------------|-------------|---------------------------|-------------|---------------------------|-------------|---------------|-------------------------------|--------------------------|---------------|------------|----|---------------|-----|
| | | | | | | 昇降路内法 ^{※2} x1×y1 | 機械室内法 x1×y1 | 昇降路内法 ^{※2} x2×y2 | 機械室内法 x2×y2 | | | | | R1 | R2 | P1 | P2 |
| 20 | 1350 | 105 | P-20-CO.105 | 1800×1700 | 1000 | 2450×2470 | 2550×3420 | 5050×2470 | 5150×3420 | 150 | 5250 | 2150 | 2250 | 107 | 71 | 199 | 170 |
| | | 120 | P-20-CO.120 | 2000×1500 | 1100 | 2650×2270 | 2750×3320 | 5450×2270 | 5550×3320 | | | | | | | | |
| | | 150 | P-20-CO.150 | 1800×1700 | 1000 | 2450×2470 | 2550×3420 | 5050×2470 | 5150×3420 | | | | | | | | |
| 24 | 1600 | 105 | P-24-CO.105 | 2000×1750 | 1100 | 2650×2520 | 2750×3440 | 5450×2520 | 5550×3440 | 150 | 5250 | 2150 | 2250 | 114 | 71 | 211 | 176 |
| | | 120 | P-24-CO.120 | 2150×1600 | | 2800×2370 | 2900×3370 | 5750×2370 | 5850×3370 | | | | | | | | |
| | | 150 | P-24-CO.150 | 2000×1750 | | 2650×2520 | 2750×3440 | 5450×2520 | 5550×3440 | | | | | | | | |
| 26 | 1750 | 105 | P-26-CO.105 | 1900×1950 | 1100 | 2550×2720 | 2650×3540 | 5250×2720 | 5350×3540 | 150 | 5250 | 2150 | 2250 | 105 | 76 | 212 | 173 |
| | | 120 | P-26-CO.120 | 2000×1850 | | 2650×2620 | 2750×3490 | 5450×2620 | 5550×3490 | | | | | | | | |
| | | 150 | P-26-CO.150 | 1900×1950 | | 2550×2720 | 2650×3540 | 5250×2720 | 5350×3540 | | | | | | | | |
| 27 | 1800 | 105 | P-27-CO.105 | 1900×2000 | 1100 | 2550×2770 | 2650×3570 | 5250×2770 | 5350×3570 | 150 | 5250 | 2150 | 2250 | 99 | 83 | 213 | 173 |
| | | 120 | P-27-CO.120 | 2100×1800 | | 2750×2570 | 2850×3470 | 5650×2570 | 5750×3470 | | | | | | | | |
| | | 150 | P-27-CO.150 | 1900×2000 | | 2550×2770 | 2650×3570 | 5250×2770 | 5350×3570 | | | | | | | | |

表3 レール最大取付間隔、水平荷重

| 機種名 | レール最大取付間隔(mm) ^{※4} | | レール水平荷重(kN) ^{※4} | | | |
|-------------|-----------------------------|------|---------------------------|-----|------|-----|
| | かが側 | おもり側 | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 |
| P-20-CO.105 | 4250 | 4100 | 11.1 | 5.6 | 16.7 | 8.4 |
| P-20-CO.120 | 4250 | 4100 | 11.1 | 5.6 | 16.7 | 8.4 |
| P-20-CO.150 | 4250 | 4100 | 11.1 | 5.6 | 16.7 | 8.4 |
| P-24-CO.105 | 4250 | 4050 | 11.3 | 5.7 | 17.3 | 8.7 |
| P-24-CO.120 | 4250 | 4050 | 11.3 | 5.7 | 17.3 | 8.7 |
| P-24-CO.150 | 4250 | 4050 | 11.3 | 5.7 | 17.3 | 8.7 |
| P-26-CO.105 | 4250 | 4050 | 11.0 | 5.5 | 17.1 | 8.6 |
| P-26-CO.120 | 4250 | 4050 | 11.0 | 5.5 | 17.1 | 8.6 |
| P-26-CO.150 | 4250 | 4050 | 11.0 | 5.5 | 17.1 | 8.6 |
| P-27-CO.105 | 4250 | 4050 | 11.0 | 5.5 | 17.1 | 8.6 |
| P-27-CO.120 | 4250 | 4050 | 11.0 | 5.5 | 17.1 | 8.6 |
| P-27-CO.150 | 4250 | 4050 | 11.0 | 5.5 | 17.1 | 8.6 |



※1 最小階高は表1で確認してください。

※2 昇降路有効内法、ピット寸法はピット防水工事後の有効寸法です。

※3 オーバーヘッド寸法はアラックス天井の場合を示します。(スーパードラックス天井は+300mm、高天井仕様の場合は+200mm)

※4 レールの水平荷重、最大取付間隔はH25国告1047(水平加速度0.6、地域係数1.0)に準じ算出しています。

RC構造の場合には、普通コンクリート構造 FC18 (N/mm²) 以上としてください。左記以外の場合は別途ご相談ください。

標準据付図 (住宅用_リアカウンター)

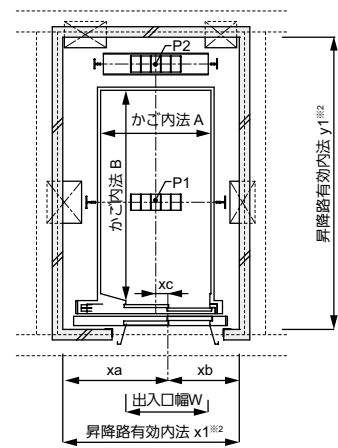
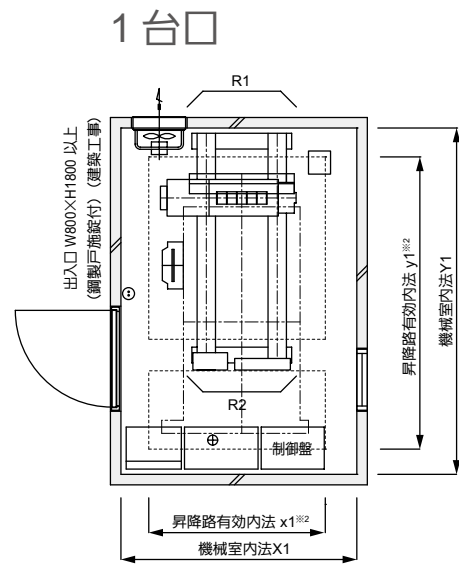
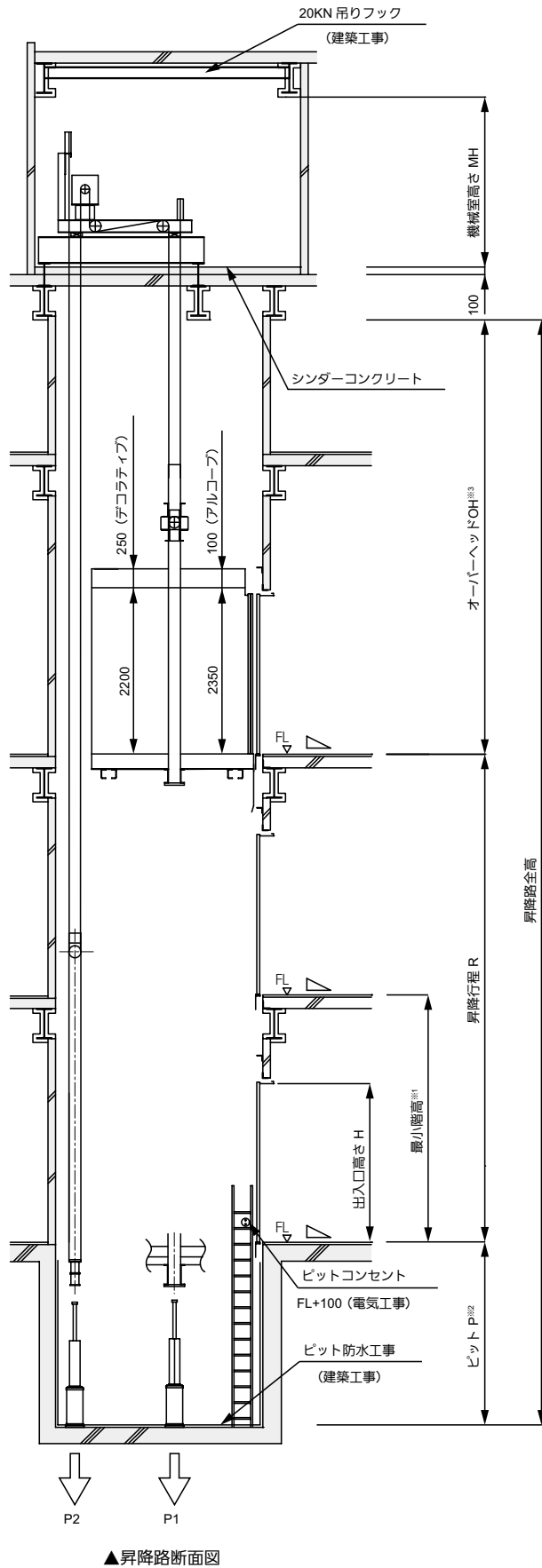


表 1 最小階高 (mm)

| 出入口高さ | 遮煙乗場ドア | |
|-------|--------|------|
| | 有 | 無 |
| 2000 | 2640 | 2540 |
| 2100 | 2740 | 2640 |
| 2300 | 2940 | 2840 |

表 2 荷重一覧

| 機種名 | 機械室反力 (kN) | | ビット部衝撃荷重 (kN) | |
|-------------|------------|----|---------------|-----|
| | R1 | R2 | P1 | P2 |
| R-9-2S.105 | | | | |
| R-9-2S.120 | 55 | 74 | 131 | 120 |
| R-9-2S.150 | | | | |
| R-13-2S.105 | | | | |
| R-13-2S.120 | 77 | 62 | 143 | 126 |
| R-13-2S.150 | | | | |

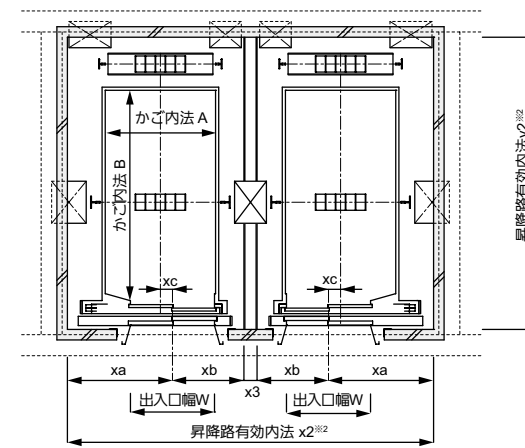
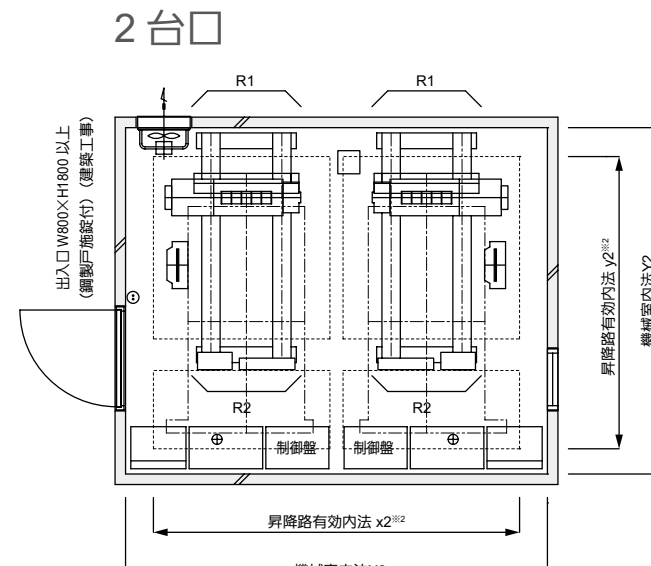


表 4 寸法一覧

| 定員 (人) | 積載量 (kg) | 速度 (m/min) | 機種名 | かご内法 A × B (mm) | 出入口幅 W (mm) | 1 台口 (mm) | | 2 台口 (mm) | | 中間ビーム (mm) | 出入口芯 (mm) | | | オーバーヘッド OH (mm) | ビット P (mm) | 機械室高さ MH (mm) | |
|--------|----------|------------|-------------|-----------------|-------------|-----------------------------|---------------|-----------------------------|---------------|------------|-----------|-----|-----|-----------------|------------|---------------|----|
| | | | | | | 昇降路内法 ^{※2} x1 × y1 | 機械室内法 X1 × Y1 | 昇降路内法 ^{※2} x2 × y2 | 機械室内法 X2 × Y2 | | x3 | xa | xb | | | | xc |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 600 | 105 | R-9-2S.105 | 1050 × 1520 | 800 | 1680 × 2300 | 2245 × 3290 | 3510 × 2300 | 4060 × 3290 | 150 | 1000 | 680 | 115 | 5250 | 2150 | 2250 | |
| | | | R-9-2S.120 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | R-9-2S.150 | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | 850 | 105 | R-13-2S.105 | 1050 × 2000 | 800 | 1680 × 2780 | 2245 × 3570 | 3510 × 2780 | 4060 × 3570 | 150 | 1000 | 680 | 115 | 5250 | 2150 | 2250 | |
| | | | R-13-2S.120 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | R-13-2S.150 | | | | | | | | | | | | | | |

※1 最小階高は表 1 で確認してください。
 ※2 昇降路有効内法、ビット寸法はビット防水工事後の有効寸法です。
 ※3 オーバーヘッド寸法はアラックス天井の場合を示します。(高天井仕様は +200mm)
 ※4 レールの水平荷重、最大取付間隔は H25 国告 1047 (水平加速度 0.6、地域係数 1.0) に準拠しています。

RC 構造の場合には、普通コンクリート構造 FC18 (N/mm²) 以上としてください。左記以外の場合は別途ご相談ください。

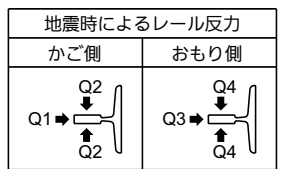
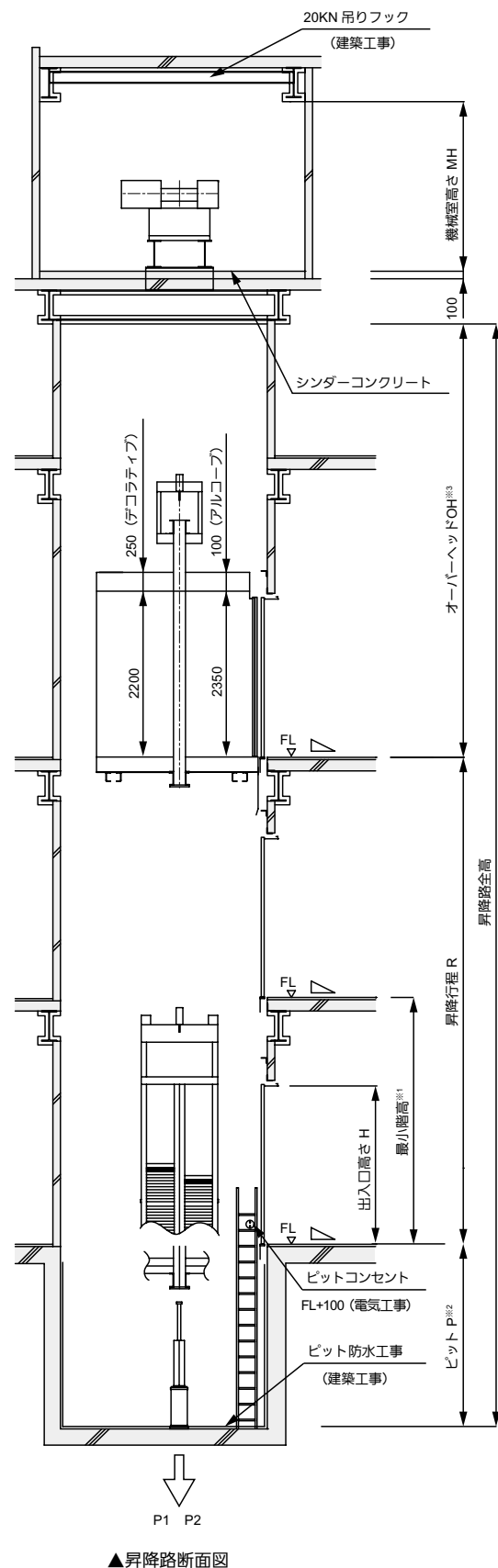


表 3 レール最大取付間隔、水平荷重

| 機種名 | レール最大取付間隔 ^{※4} (mm) | | レール水平荷重 ^{※4} (kN) | | | |
|-------------|------------------------------|------|----------------------------|-----|------|-----|
| | かご側 | おもり側 | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 |
| R-9-2S.105 | 4250 | 3250 | 8.0 | 4.0 | 11.7 | 5.9 |
| R-9-2S.120 | 4250 | 3250 | 8.0 | 4.0 | 11.7 | 5.9 |
| R-9-2S.150 | 4250 | 3250 | 8.0 | 4.0 | 11.7 | 5.9 |
| R-13-2S.105 | 4250 | 3200 | 8.2 | 4.1 | 12.3 | 6.2 |
| R-13-2S.120 | 4250 | 3200 | 8.2 | 4.1 | 12.3 | 6.2 |
| R-13-2S.150 | 4250 | 3200 | 8.2 | 4.1 | 12.3 | 6.2 |

標準据付図 (住宅用_サイドカウンター)



1 台口

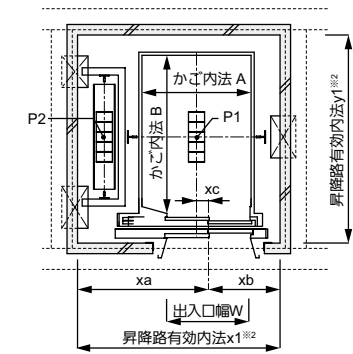
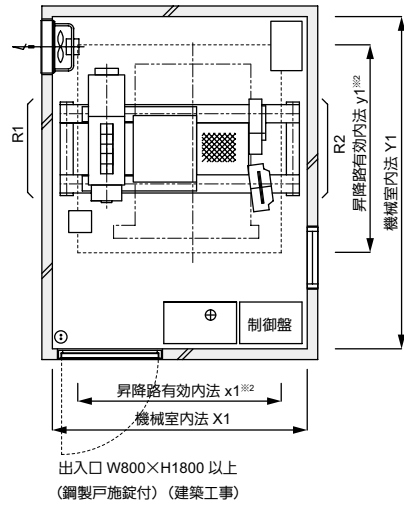


表1 最小階高 (mm)

| 出入口高さ H | 遮煙乗場ドア | |
|---------|--------|------|
| | 有 | 無 |
| 2000 | 2640 | 2540 |
| 2100 | 2740 | 2640 |
| 2300 | 2940 | 2840 |

表2 荷重一覧

| 機種名 | 機械室反力 (kN) | | ビット部衝撃荷重 (kN) | |
|-------------|------------|----|---------------|-----|
| | R1 | R2 | P1 | P2 |
| R-9-2S.105 | | | | |
| R-9-2S.120 | 88 | 41 | 131 | 120 |
| R-9-2S.150 | | | | |
| RT-9-2S.105 | | | | |
| RT-9-2S.120 | 88 | 41 | 131 | 120 |
| RT-9-2S.150 | | | | |
| R-13-2S.105 | | | | |
| R-13-2S.120 | 95 | 44 | 143 | 126 |
| R-13-2S.150 | | | | |

2 台口

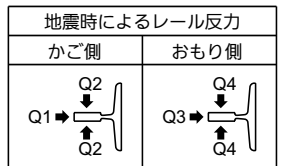
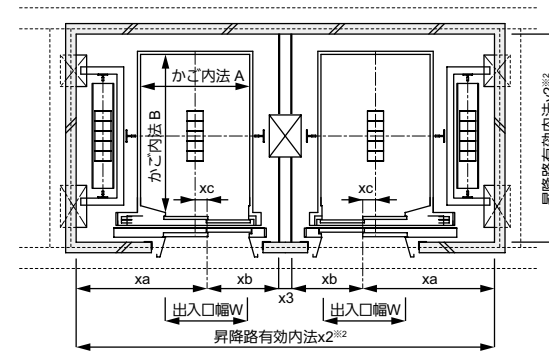
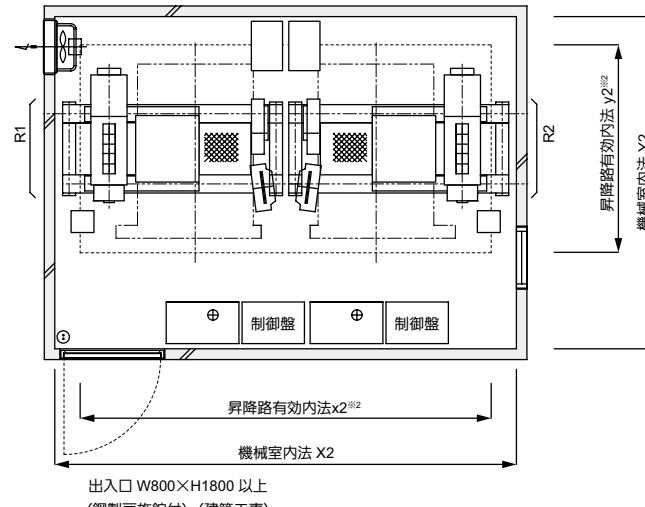


表3 レール最大取付間隔、水平荷重

| 機種名 | レール最大取付間隔 ^{※4} (mm) | | レール水平荷重 ^{※4} (kN) | | | |
|-------------|------------------------------|------|----------------------------|-----|------|-----|
| | かが側 | おもり側 | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 |
| R-9-2S.105 | 4250 | 3250 | 8.0 | 4.0 | 11.7 | 5.9 |
| R-9-2S.120 | 4250 | 3250 | 8.0 | 4.0 | 11.7 | 5.9 |
| R-9-2S.150 | 4250 | 3250 | 8.0 | 4.0 | 11.7 | 5.9 |
| RT-9-2S.105 | 4250 | 3250 | 8.0 | 4.0 | 11.7 | 5.9 |
| RT-9-2S.120 | 4250 | 3250 | 8.0 | 4.0 | 11.7 | 5.9 |
| RT-9-2S.150 | 4250 | 3250 | 8.0 | 4.0 | 11.7 | 5.9 |
| R-13-2S.105 | 4250 | 3200 | 8.2 | 4.1 | 12.3 | 6.2 |
| R-13-2S.120 | 4250 | 3200 | 8.2 | 4.1 | 12.3 | 6.2 |
| R-13-2S.150 | 4250 | 3200 | 8.2 | 4.1 | 12.3 | 6.2 |

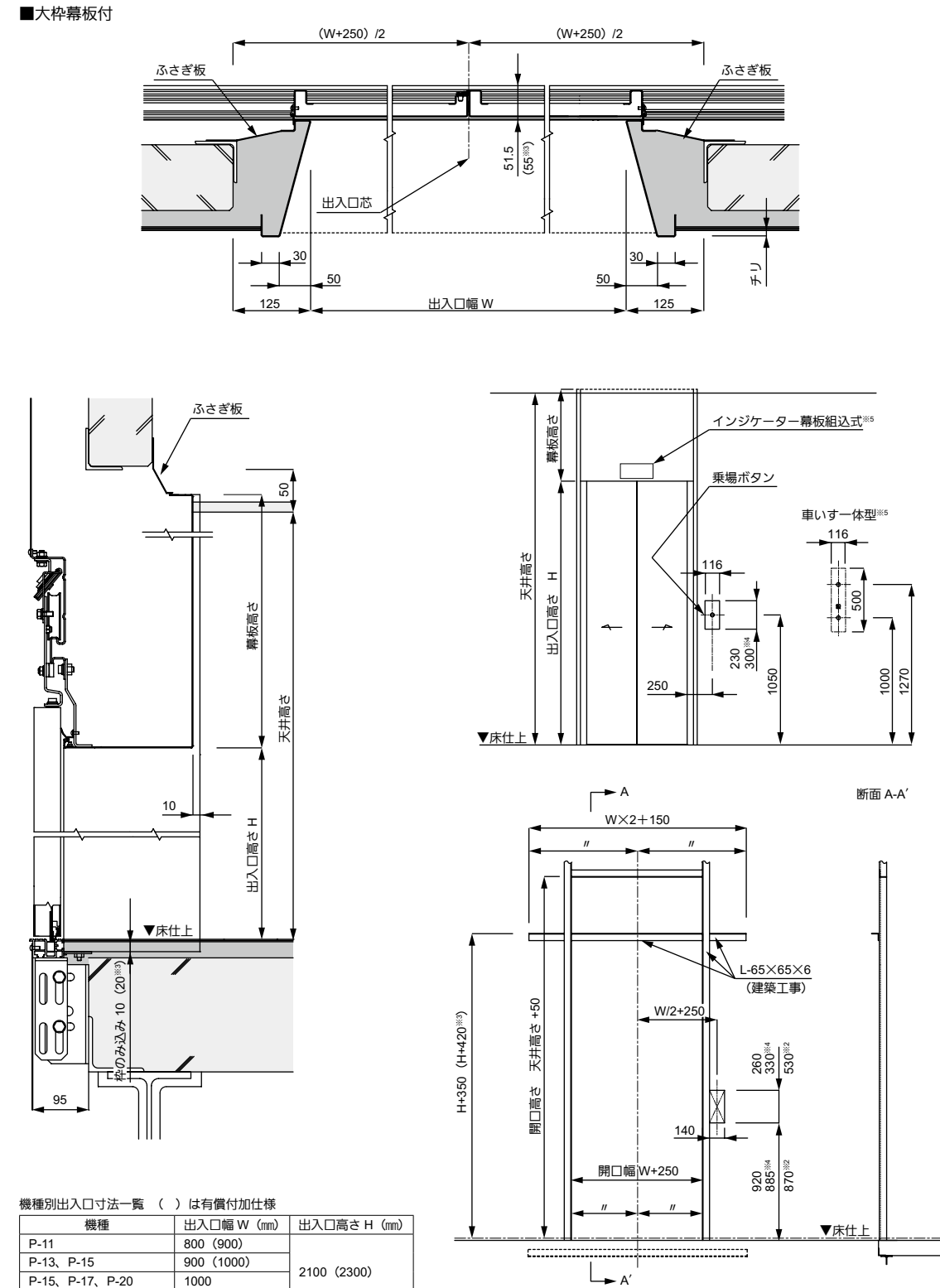
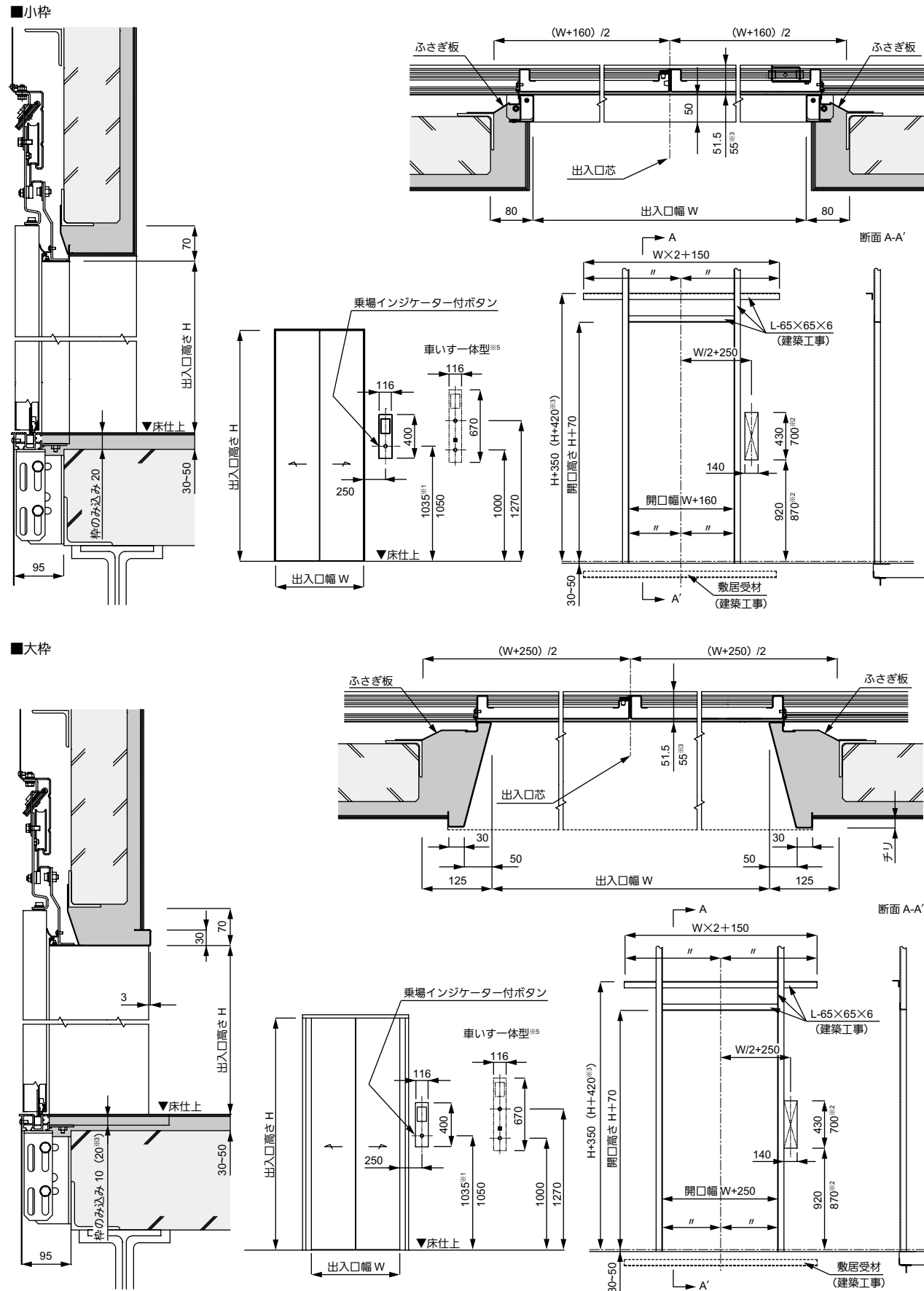
表4 寸法一覧

| 定員 (人) | 積載量 (kg) | 速度 (m/min) | 機種名 | かが内法 A×B (mm) | 出入口幅 W (mm) | 1台口 (mm) | | 2台口 (mm) | | 中間ビーム (mm) | 出入口芯 (mm) | | | オーバーヘッド ^{※3} OH (mm) | ビット ^{※2} P (mm) | 機械室高さ MH (mm) |
|-----------|----------|------------|-------------|---------------------|-------------|---------------------------|-------------|---------------------------|-------------|------------|-----------|-----|-----|-------------------------------|--------------------------|---------------|
| | | | | | | 昇降路内法 ^{※2} x1×y1 | 機械室内法 X1×Y1 | 昇降路内法 ^{※2} x2×y2 | 機械室内法 X2×Y2 | | x3 | xa | xb | | | |
| 9 | 600 | 105 | R-9-2S.105 | 1050×1520 | 800 | 2050×2050 | 2350×3200 | 4250×2050 | 4550×3200 | 150 | 1265 | 785 | 115 | 5000 | 2150 | 2250 |
| | | | R-9-2S.120 | | | | | | | | | | | 5000 | 2150 | |
| | | | R-9-2S.150 | | | | | | | | | | | 5200 | 2450 | |
| 9 (トラック付) | 600 | 105 | RT-9-2S.105 | 1050×1520 (950×480) | 800 | 2050×2500 | 2350×3200 | 4250×2500 | 4550×3200 | 150 | 1265 | 785 | 115 | 5000 | 2150 | 2250 |
| | | | RT-9-2S.120 | | | | | | | | | | | 5000 | 2150 | |
| | | | RT-9-2S.150 | | | | | | | | | | | 5200 | 2450 | |
| 13 | 850 | 120 | R-13-2S.105 | 1050×2000 | 800 | 2050×2500 | 2350×3350 | 4250×2500 | 4550×3350 | 150 | 1265 | 785 | 115 | 5000 | 2150 | 2250 |
| | | | R-13-2S.120 | | | | | | | | | | | 5000 | 2150 | |
| | | | R-13-2S.150 | | | | | | | | | | | 5200 | 2450 | |

※1 最小階高は表1で確認してください。
 ※2 昇降路有効内法、ビット寸法はビット防水工事後の有効寸法です。
 ※3 オーバーヘッド寸法はデラックス天井の場合を示します。(高天井仕様は +200mm)
 ※4 レールの水平荷重、最大取付間隔はH25 国告 1047 (水平加速度 0.6、地域係数 1.0) に準じ算出しています。

RC 構造の場合には、普通コンクリート構造 FC18 (N/mm²) 以上としてください。左記以外の場合は別途ご相談ください。

三方枠詳細図、姿図、孔明図（乗用）

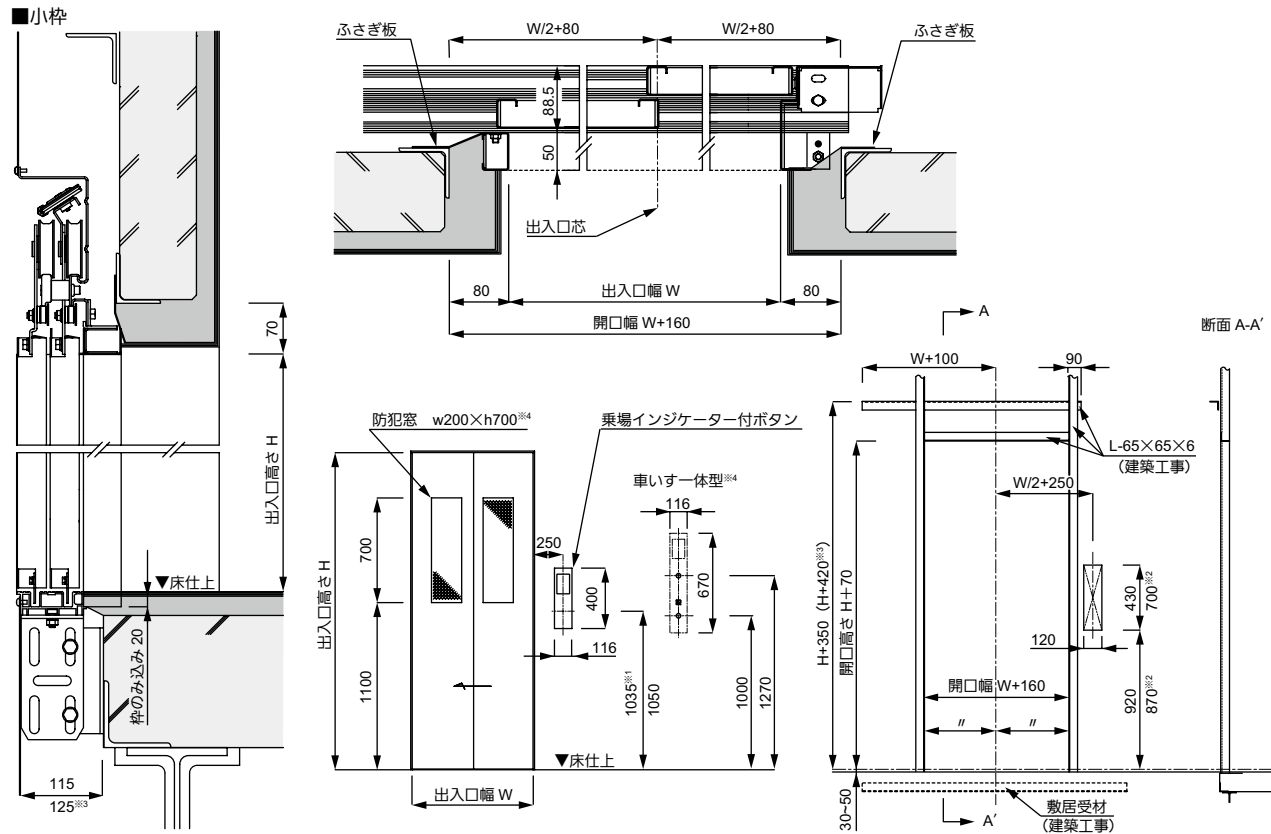


※1 ボタンプレートがステンレスシートヘアラインの場合の寸法です。
 ※2 ボタンプレートが車いす一体型の場合の寸法です。
 ※3 遮煙扉仕様の場合の寸法です。
 ※4 最上階（インジケータ分離型）の場合の寸法です。
 ※5 有償付加仕様です。

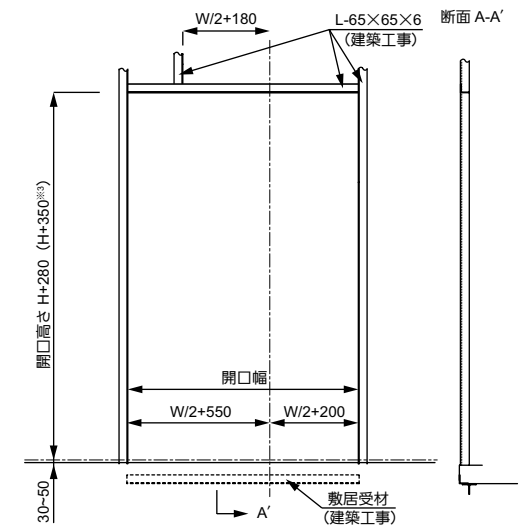
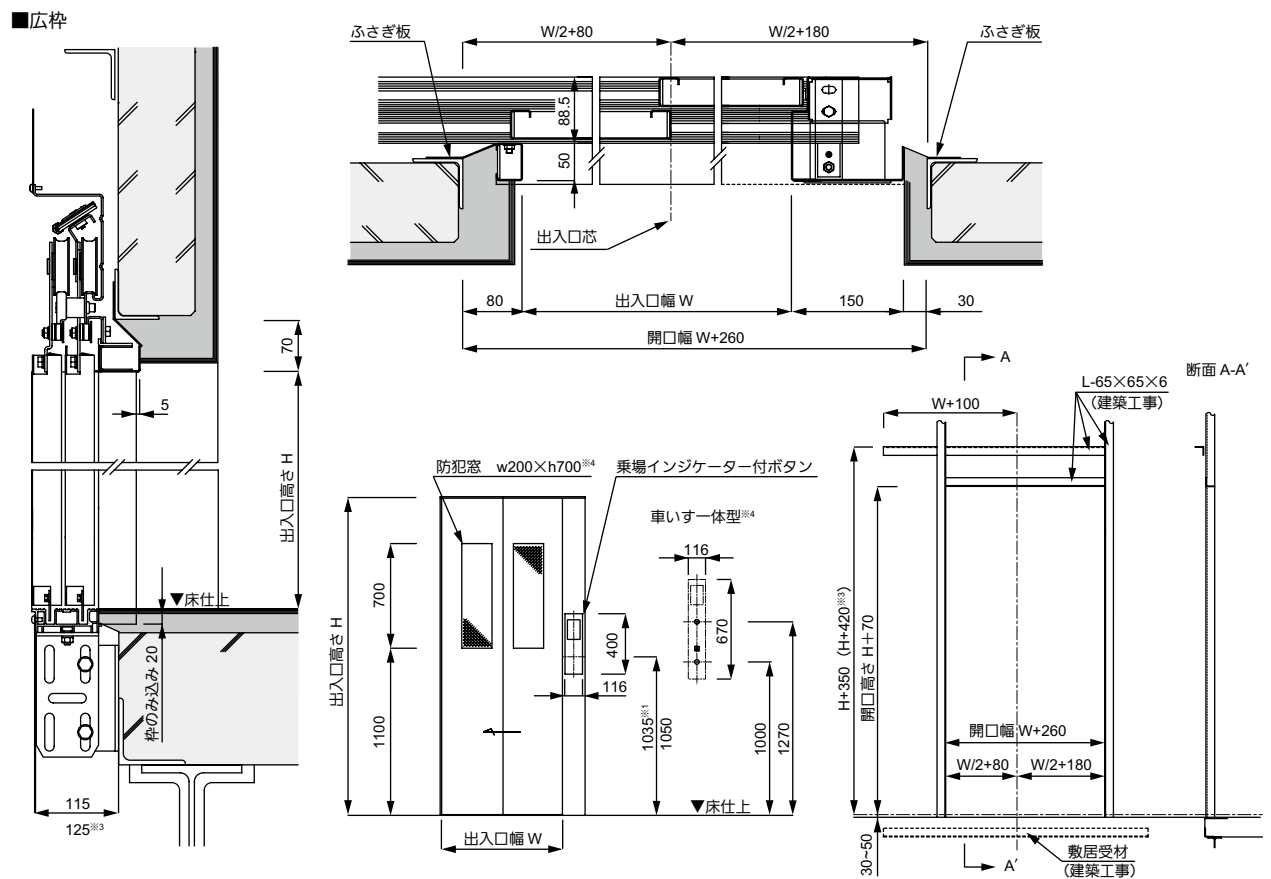
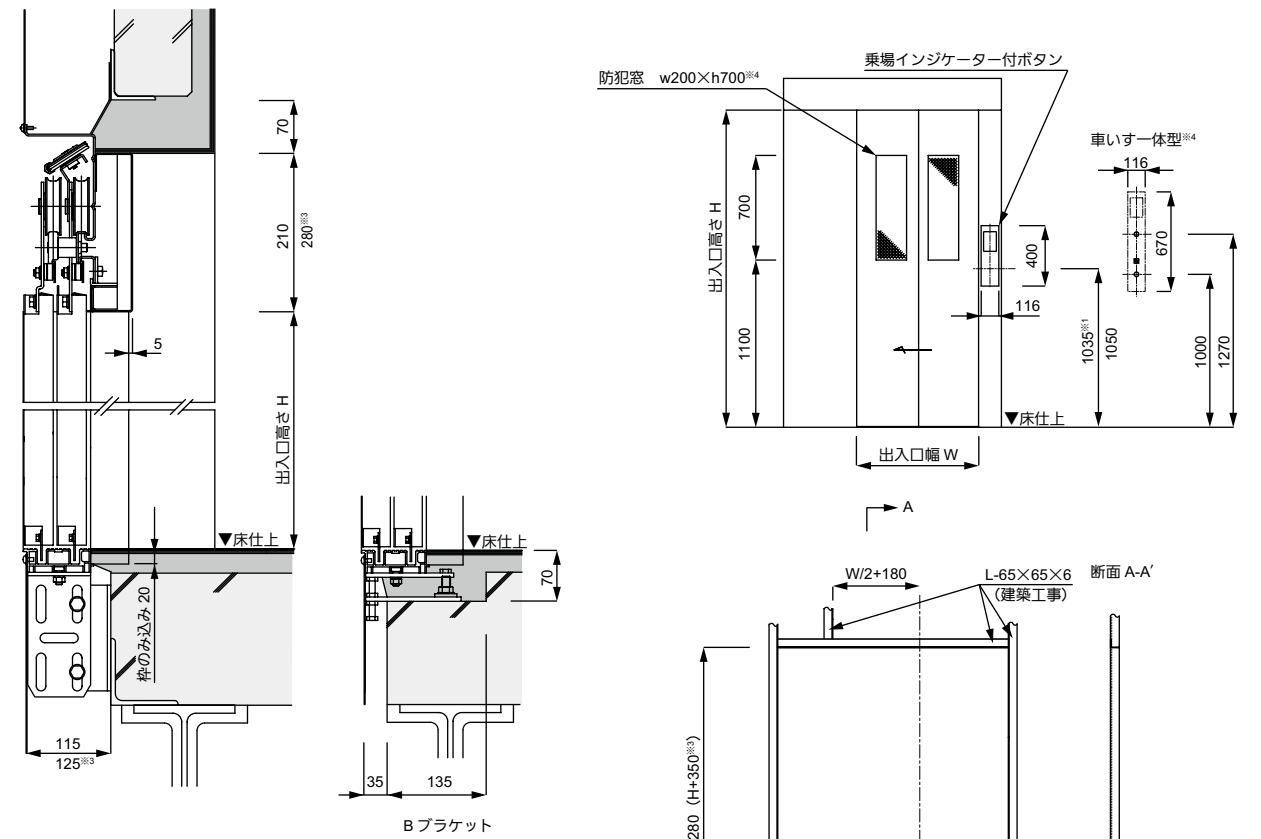
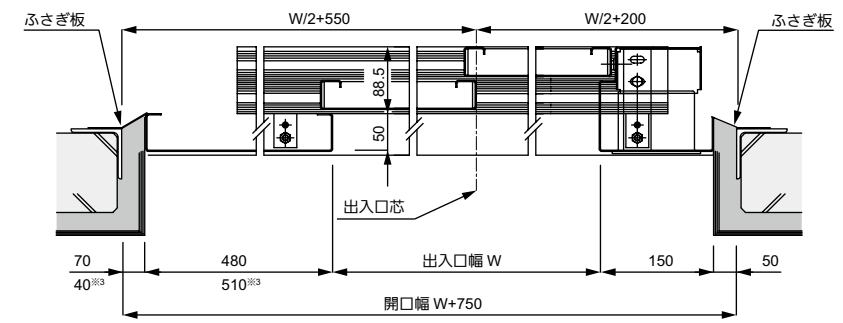
非常用エレベーターの場合、非常呼戻しボタンが必要となります。設置位置等につきましては、別途ご相談ください。



三方枠詳細図、姿図、孔明図 (住宅用)



■そで壁付枠



機種別出入口寸法一覧 () は有償付加仕様

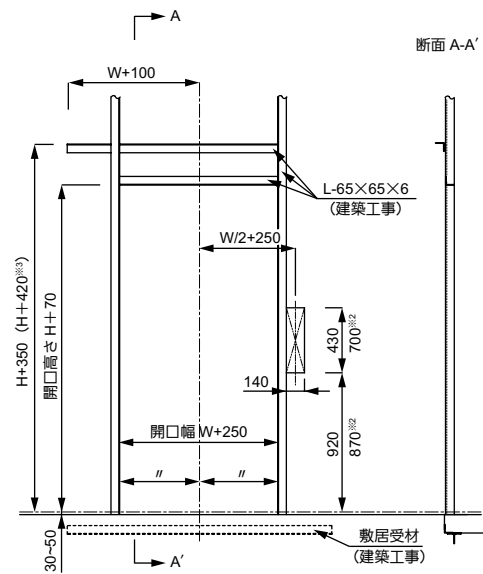
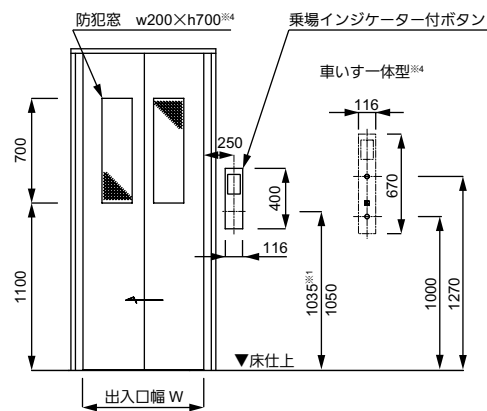
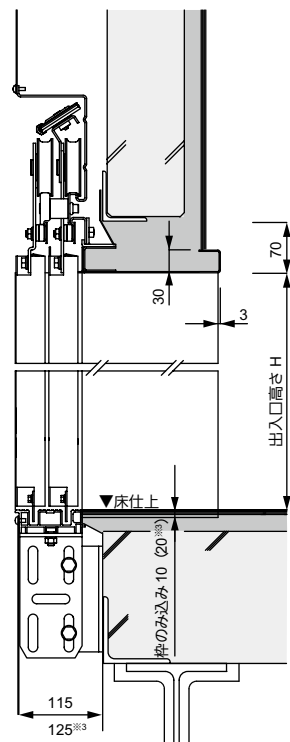
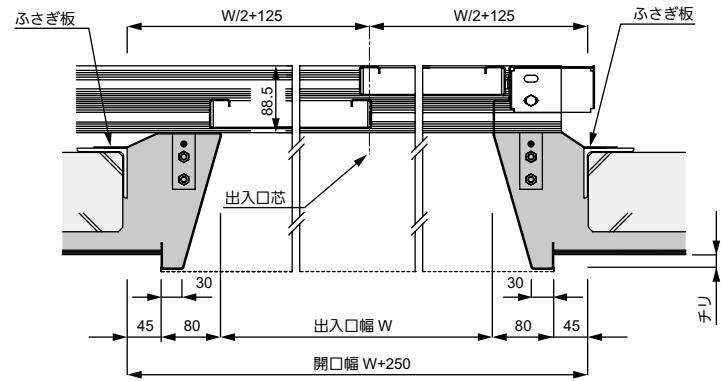
| 機種 | 出入口幅 W (mm) | 出入口高さ H (mm) |
|-----------|-------------|-------------------|
| R-9, RT-9 | 800 | 2000, 2100 (2300) |
| R-13 | | |

- ※1 ボタンプレートがステンレスシートヘアラインの場合の寸法です。
- ※2 ボタンプレートが車いす一体型の場合の寸法です。
- ※3 遮煙扉仕様の場合の寸法です。
- ※4 有償付加仕様です。

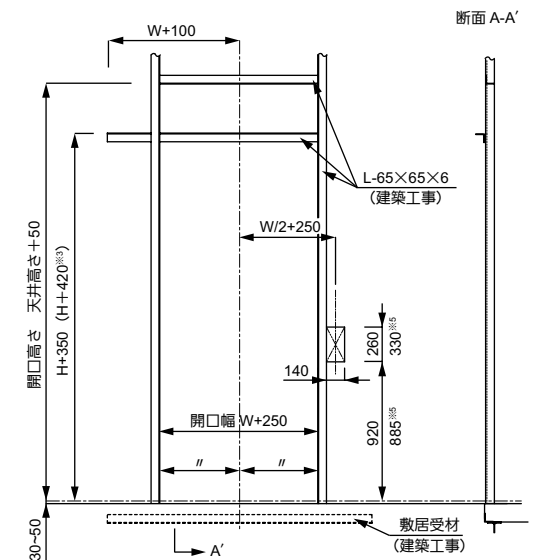
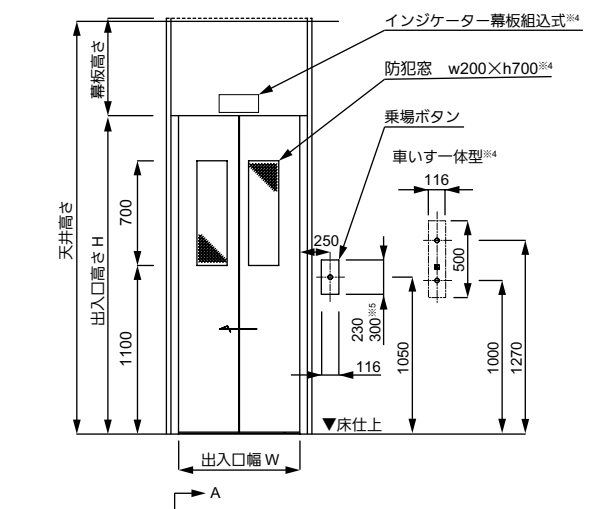
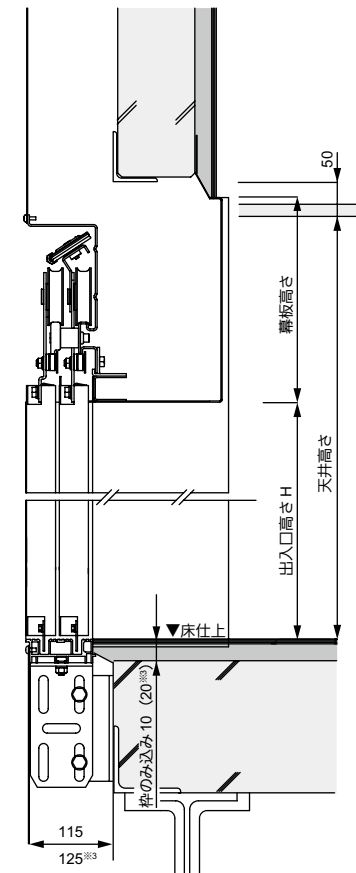
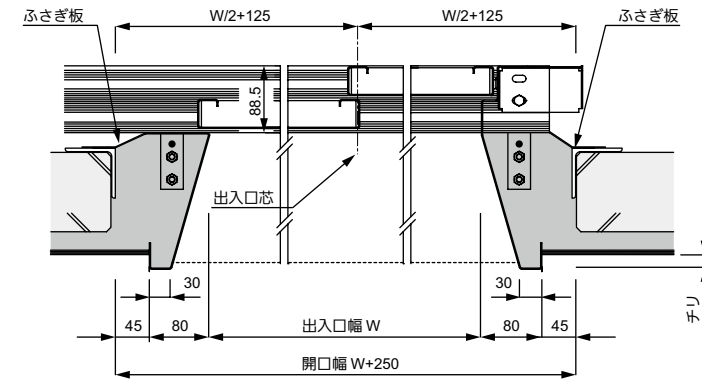


三方枠詳細図、姿図、孔明図 (住宅用)

■大枠



■大枠幕板付



機種別出入口寸法一覧 () は有償付加仕様

| 機種 | 出入口幅 W (mm) | 出入口高さ H (mm) |
|-----------|-------------|-------------------|
| R-9, RT-9 | 800 | 2000, 2100 (2300) |
| R-13 | | |

- ※ 1 ボタンプレートがステンレスシートヘアラインの場合の寸法です。
- ※ 2 ボタンプレートが車いす一体型の場合の寸法です。
- ※ 3 遮煙扉仕様の場合の寸法です。
- ※ 4 有償付加仕様です。
- ※ 5 最上階 (インジケータ分離型) の場合の寸法です。





エレベーターの誕生は、かつては夢でしかなかった高層建築を実現し、いまや大空へそびえる建築デザインをも可能にしました。すなわち、現代建築の歴史はエレベーターの歴史そのものであり、エレベーターがなければ、あの摩天楼も決して生まれることはなかったでしょう。高層ビルディングから、住まいまで。なくてはならない「タテの道」で、人と街を動かすチカラを世界に。私たちはエレベーターのパイオニア、日本オーチス。



| | | | | | | | | | | |
|------|------------|----------------------------|--------|----------|-------------|-------------|-----------------|-------------------|---------|-------------------|
| 物件名 | ロッテワールドタワー | スリーインターナショナルフィナンシャルセンターソウル | エッフェル塔 | ブルジュハリファ | ペトロナスツインタワー | 六本木ヒルズ 森タワー | エンパイアステートビルディング | ノースイーストアジアトレードタワー | 上海テレビ塔 | 上海ワールドフィナンシャルセンター |
| 建物高さ | 555m | 284m | 324m | 828m | 452m | 238m | 443m | 305m | 467m | 492m |
| 設置国名 | 大韓民国 | 大韓民国 | フランス | ドバイ酋長国 | マレーシア | 日本 | アメリカ合衆国 | 大韓民国 | 中華人民共和国 | 中華人民共和国 |

会社概要 / メンテナンス

Group of Otis

オーチス・エレベータは、コネチカット州ハートフォードに本社を置く世界屈指の多国籍企業 UTC (ユナイテッド・テクノロジーズ・コーポレーション) の主要メンバーとして活躍しています。

United Technologies Corporation

- UTRC (研究開発部門)
- UTC Aerospace Systems (宇宙・航空・防衛部門)
- Pratt & Whitney (航空機エンジン)
- Otis (建築設備部門)
- UTC Climate Controls & Security (建築設備・セキュリティー・防火部門)

Network of Otis

世界最大のエレベーターカンパニー、オーチス。現在 200 を超える国と地域で事業を展開し約 7 万人の従業員が働いています。エレベーター・エスカレーター、動く歩道など世界中の総保守台数は 190 万台以上にのびます。 ※1



※1：台数は 2015 年 12 月現在

Corporate Social Responsibility

保守員の技術支援の為に導入された研修トラック。今ではその使用方法にとどまらず、新商品のプロモーションや、エレベーター・エスカレーターの正しい乗り方教室などを各地の幼稚園などで開催しています。(2012 年キッズデザイン賞受賞)



2016 油圧式エレベーター向け改修新商品「G@N2 MOD Green」発売開始
エレベーター次世代運行管理システム「CompassPlus」第46回機械工業デザイン賞「審査委員会特別賞」受賞
シンドラールエレベーターの日本での昇降機サービス事業の取得

2015 「Lube-Free (給油不要) Gen2™Premier」を世界初納入
機械工業デザイン賞
「G@N2 Premier」第45回機械工業デザイン賞「審査委員会特別賞」受賞
「G@N2 Premier」発売開始

2012 「安全乗り方教室」キッズデザイン賞受賞

2011 改修工事向け「G@N2 MOD」発売開始

2009 「ハンドタッチセンサー」キッズデザイン賞受賞

2008 ドア引き込まれ防止装置「ハンドタッチセンサー」「G@N2」に標準装備
地震時自動診断・復旧システム発売開始

2007 フラットベルト検査装置「Pulse System」を「G@N2」に標準装備

2006 先行階事前登録システム「Compass」を国内第1号機として虎ノ門タワースオフィスに納入

2005 一般エレベーター新販売体制スタート

2002 世界初水で動く水圧式エレベーター「SPEC ECO」発売

1998 世界最高レベルの高さを誇るオーチス山田テストタワー竣工
塔屋不要エレベーター「SPEC REVO」発売

1992 わが国初の「シャトル・システム」を成田国際空港に納入

1989 世界初のリアモーターエレベーターの実用化に成功

1984 蒲田工場から芝山工場へ生産体制を統合・本格稼働

1973 日本オーチス・エレベーター株式会社に社名変更

1968 数ヶ所にわが国初の最高速度300m/minのエレベーターを納入

1933 蒲田工場完成
国産エレベーター第一号機を静岡赤十字病院に納入

1932 東洋オーチス・エレベーター株式会社設立
わが国初のエレベーター貴生産工場「蒲田工場」建設開始

1927 オーチス・エレベーター・カンパニー日本支社開設

1914 わが国初のエスカレーター(オーチス製)を日本橋三越呉服店に納入

1896 わが国初のエレベーター(オーチス製)を日本銀行本店に納入

1854 ニューヨークの万国博覧会で落下防止装置の安全を立証

1853 オーチス社設立
ニューヨーク郊外に世界初の近代エレベーター工場を建設

1852 E・G・オーチスがエレベーターの落下防止装置を考案

Elite™ service は、お客様を最優先に考えたワンランク上のオプションサービスです。

エリートサービスは、お客様にお届けする弊社最高水準のサービス・プログラムです。万一の障害発生時には、比類ないレスポンスを発揮。原因究明から復旧までを迅速に行い、エレベーターの稼働を高いサービスレベルでお約束します。

| | | |
|----------------|------------------------------|---|
| Elite™ Special | リモートリカバーサービス | 万一の閉じ込め故障の際、遠隔操作を行うことにより、スピーディな閉じ込めの解消を図ります。 |
| Elite™ Basic | 優先サービス | 特別専用回線と専任技術者の専門技術を駆使して、お客様のエレベーターを優先した信頼のサービスをお届けします。 |
| | 遠隔故障復旧サービス | 遠隔操作による故障復旧を図るとともに、故障原因を遠隔で診断・分析し、スピーディな復旧を図ります。 |
| | 遠隔操作サービス | 高度な遠隔技術を駆使して、お客様のエレベーターの仕様を迅速に設定変更します。 |
| | 情報配信サービス | 万一の故障の際、対応状況および経過をメールでお知らせします。 |
| | アフターサービス | 停止故障の対応を行った翌日、お客様のエレベーターが正常に稼働しているかを確認することによって、きめ細やかなサポートを行います。 |
| Elite™ ONE | 災害サービス | 地震発生時にお客様のエレベーターの状況を定期的にご報告します。 |
| 基本契約 | エレベーター遠隔診断システム Dr.REIS | 常時お客様のエレベーターを見守りながらサービスエンジニアの定期診断に加え、遠隔で点検するホームドクターです。 |
| | エレベーター遠隔監視システム REM | エレベーターを 24 時間 365 日体制で監視。フルタイムでお客様をお守りするとともに、各機能の運行データを計測します。 |
| | インターネット情報提供サービス eService | 昇降機の運行データやメンテナンス履歴、トラブル対応履歴などが、インターネットホームページでご利用頂けます。 |
| 基本サービス | OM (フルメンテナンス) または POG (点検契約) | |

お客様のご要望に応じて 2 タイプの基本メンテナンス契約をご用意しています。

OM 契約 (オーチス・メンテナンス契約)

エレベーターを常に最良の状態に維持する為に、毎月一定額の保守料金で計画的な点検・調整・修理・基本部品の取替えを実施します。その際の費用はご契約に組み込まれているため、不意の高額出費の心配がございません。
※契約外の部品交換等、別途有償となる場合がございます。

POG 契約 (点検契約)

一部の消耗品の交換を含め、通常の運行に必要な点検・調整を行うメンテナンス契約です。一定外の部品や機器の取替え、修理には別途費用が必要となります。

日本オーチス・エレベータ株式会社

本社：東京都文京区本駒込二丁目28番8号 文京グリーンコート

東日本支社

〒112-0012 東京都文京区大塚二丁目9番3号
住友不動産音羽ビル
・新設営業部 TEL.03-5940-2890
・改修営業部 TEL.03-5940-2885

■北海道支店

〒060-0003 札幌市中央区北3条西一丁目1番1号
札幌ブリックキューブ
TEL.011-222-4411

- ・札幌北営業所 TEL.011-222-4411
- ・札幌南営業所 TEL.011-222-4411

■東北支店

〒980-0811 仙台市青葉区一番町一丁目3番1号
TMビル
TEL.022-225-5721

- ・盛岡営業所 TEL.019-654-7567

■関東支店

〒330-8669 さいたま市大宮区桜木町1-11-9
ニッセイ大宮桜木町ビル
TEL.048-643-0286

- ・新潟営業所 TEL.025-243-5018
- ・北関東営業所 TEL.048-652-8322
- ・東関東営業所 TEL.043-224-9311
- ・舞浜営業所 TEL.047-382-8319

■首都圏支店

〒112-0012 東京都文京区大塚二丁目9番3号
住友不動産音羽ビル
・保守営業部 TEL.03-5940-2952

- ・東京営業所 TEL.03-3408-4669
- ・東京中央営業所 TEL.03-3639-7321
- ・墨田営業所 TEL.03-3625-2751
- ・港営業所 TEL.03-3501-2151
- ・城南営業所 TEL.03-3443-3181
- ・東京北営業所 TEL.03-5982-8591
- ・西東京営業所 TEL.042-234-7861
- ・甲信営業所 TEL.026-291-1405

■神奈川支店

〒231-0021 神奈川県横浜市中区日本大通18番地
KRCビルディング
TEL.045-641-5651

- ・横浜営業所 TEL.045-641-5680
- ・川崎営業所 TEL.044-222-5873
- ・相模営業所 TEL.046-263-2431
- ・静岡営業所 TEL.054-254-9501

西日本支社

〒540-6110 大阪市中央区城見二丁目1番61号
ツイン21MIDタワー
・営業部 TEL.06-6949-1331

■中部支店

〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目23番30号
名古屋パナソニックビル
TEL.052-951-1450

- ・中部第一営業所 TEL.052-951-1520
- ・中部第二営業所 TEL.052-951-1520
- ・三重営業所 TEL.059-225-8106

■京都支店

〒600-8007 京都市下京区四条通東洞院東入ル
立売西町60 日本生命四条ビル
TEL.075-212-5533

- ・京都営業所 TEL.075-212-5533
- ・京滋営業所 TEL.077-526-3328
- ・北陸営業所 TEL.076-238-7977

■近畿支店

〒540-6110 大阪市中央区城見二丁目1番61号
ツイン21MIDタワー

- ・保守営業部 TEL.06-6949-1271
- ・改修営業部 TEL.06-6949-1275

- ・中之島営業所 TEL.06-6444-5846
- ・北営業所 TEL.06-6396-1705
- ・御堂筋営業所 TEL.06-6201-4612
- ・堺営業所 TEL.0722-22-7206
- ・奈良営業所 TEL.0743-52-0074

■神戸支店

〒650-0034 神戸市中央区京町78番地
三宮京町ビル
TEL.078-391-4502

- ・神戸営業所 TEL.078-391-4502
- ・阪神営業所 TEL.0798-64-6311
- ・兵庫西営業所 TEL.0792-85-1029
- ・四国営業所 TEL.087-822-2865

■中国支店

〒732-0827 広島市南区稲荷町4番1号
広島稲荷町N Kビル
TEL.082-263-7111

- ・岡山営業所 TEL.086-222-1500

■九州支店

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南一丁目2番13号
福岡パナソニックビル
TEL.092-481-0931

- ・福岡営業所 TEL.092-481-0931
- ・北九州営業所 TEL.093-541-1808
- ・南九州営業所 TEL.096-371-3031
- ・沖縄営業所 TEL.098-878-3267

全国出張所／分室一覧

小樽・登別・室蘭・苫小牧・函館
稚内・旭川・北見・釧路・帯広
山形・庄内・郡山・いわき・福島
会津・秋田・八戸・弘前・青森
長岡・上越・湯沢・埼玉東・埼玉西
宇都宮・今市・前橋・茨城・成田
成田空港・船橋・柏・木更津・臨海
千住・蒲田・初台・板橋・池尻
泉岳寺・八王子・長野・松本・諏訪
飯田・甲府・横須賀・溝の口・西湘
浜松・浜岡・熱海・下田・名駅
岐阜・高山・三河安城・三島
豊田・豊橋・知多・鳥羽・四日市
福知山・長岡京・田辺・湖東
桜島・高槻・北大阪・千里
京阪・枚方・OBP・南・東大阪
泉南・和歌山・河内長野・白浜
天理・姫路・明石・三田・和田山
能登・富山・小松・福井・松山
新居浜・高知・宇和島・徳島・松江
米子・鳥取・下関・山口・周南
津山・福山・久留米・長崎・佐世保
北九州・大分・鹿児島・宮崎 (H28.10.1)

サービスは、**24** 時間体制
全国共通のフリーダイヤルで

サービスは
24時間 365日
0120-324365



安全に関する
ご注意

- 法令を遵守してください。
- ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 湿気が多い場所や温度が高い場所には据え付けしないでください。
感電、火災、故障、変形などのおそれがあります。

ご使用の際、
このような症状は
ありませんか。

- こげくさい臭いがしたり、運転中に異常な音や振動がある。
- 本体が傾いたりしてグラグラしている。
- その他の異常・故障がある（ボタンを押しても動かないときがある・扉が開閉しないときがある）。

ご使用
中止

このような症状のときは、
故障や事故防止のため、
ご使用を中止して、必ず
保守会社に点検・修理を
ご相談ください。

※ここに示した各数値は本資料印刷時のものです。改良等のため予告なく変更する場合があります。
※この資料の内容については、上記の連絡先へお問い合わせください。

OTIS

www.otis.com
NEA-JP-1804
©2018 Otis Elevator Company

GPS-8(0.7)